

<https://kiso-cloud.com/>

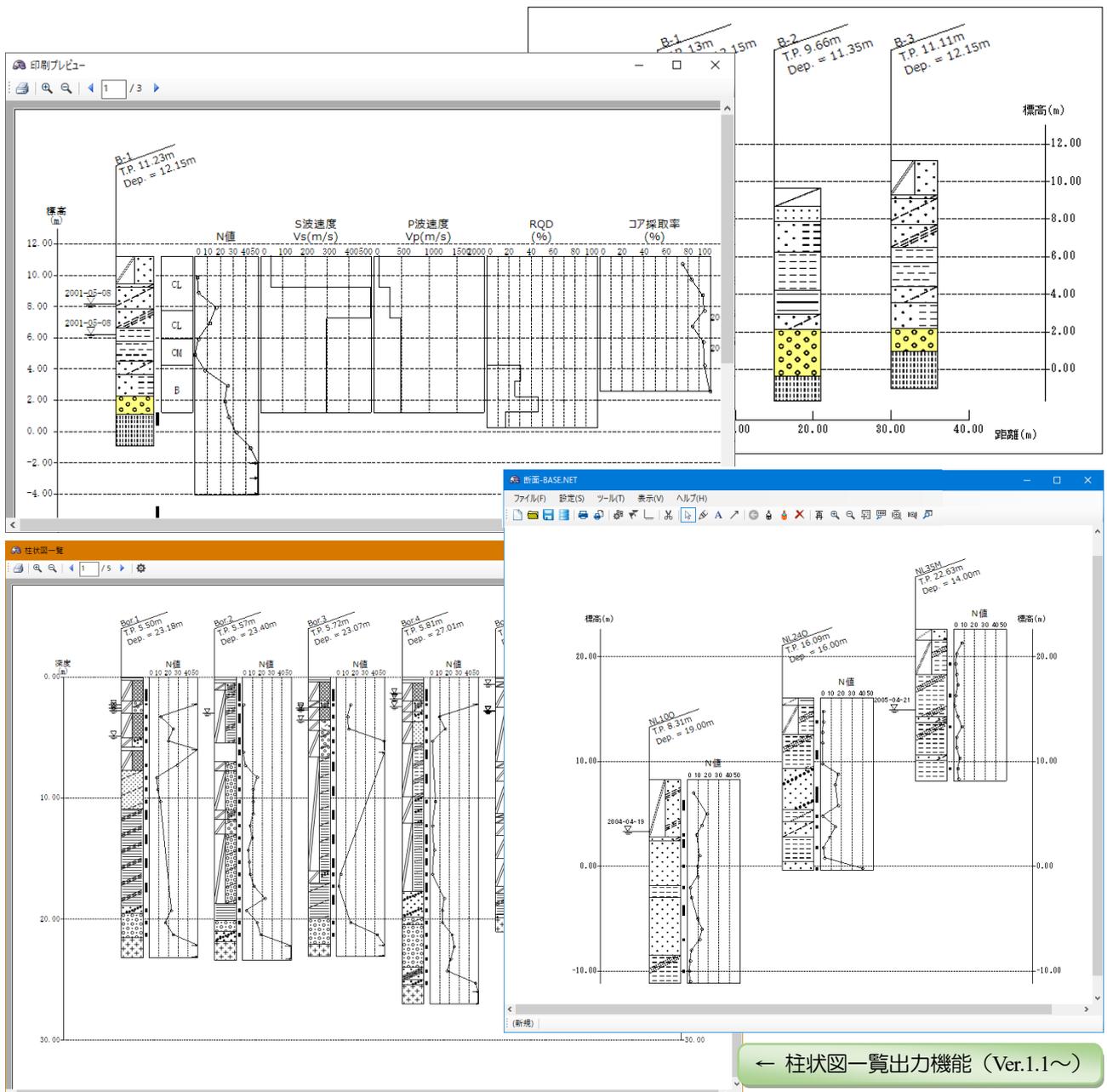
Kiso-Cloud[®]

geotechnical & geospacial SaaS



断面-BASE.NET Ver.1.1 操作マニュアル

- 断面-BASE.NET は「地層想定断面図・柱状一覧図」等を作成するシステムであり、断面-BASE/Win の後継製品となります。
- 「地質・土質成果電子納品要領（平成 28 年 10 月）」に規定されたボーリング交換用データ（CALSS4 形式）を読み込み、「ボーリング柱状図及びボーリングコア取扱い・保管要領（案）・同解説（平成 27 年 6 月）」に対応した断面図を作成します。
- Ver.1.1 から原位置-BASE/Win・LIQ.NET など、指定可能データ形式が追加されました。



目次

1. 断面-BASE.NET の概要	1-1
1.1. 断面-BASE.NET とは	1-1
1.2. 柱状図模様および背景色の設定	1-2
1.3. Ver.1.1 (2024/04～) の改修項目	1-3
1.3.1. 指定可能データ形式の追加	1-3
1.3.2. 土質記号 (図模様) をラスター形式からベクタ形式に変更	1-3
1.3.3. 土質記号 (図模様) 背景色の表示指定を追加	1-3
1.3.4. 書式設定機能の強化 (&不具合修正)	1-4
1.3.5. 柱状図一覧出力機能の追加	1-5
1.4. よくある質問と回答	1-5
2. インストールガイド	2-1
2.1. レンタル版の利用	2-1
2.1.1. ダウンロードおよびインストール	2-1
2.1.2. アンインストール	2-2
2.1.3. Kiso-Cloud 認証システム	2-3
3. 操作説明	3-1
3.1. 断面-BASE.net の起動	3-1
3.2. 断面図の新規作成	3-1
3.3. ボーリング XML 等の読み込み	3-2
3.4. ボーリングデータの表示設定	3-3
3.5. 深度分布図設定	3-4
3.5.1. ボーリング柱状図の場合	3-4
3.5.2. 土質試験結果の場合	3-5
3.5.3. 汎用データの場合	3-6
3.5.4. 液状化の場合	3-7
3.6. 作図設定	3-8
3.7. 軸の書式設定	3-10
3.8. 断面 (層境界線) の作成・編集	3-11
3.9. 表示設定	3-18
3.10. 断面図の保存・読み込み	3-19
3.11. DXF ファイル出力	3-20
3.12. 柱状図一覧出力	3-21
3.13. 柱状図一覧の設定	3-22
3.14. 印刷	3-23
3.15. ヘルプ	3-24
3.16. 断面-BASE.net の終了	3-24
3.17. 独自模様の利用	3-25
3.17.1. 柱状-BASE.net にて独自模様を設定する	3-25
3.17.2. 断面-BASE.net にて柱状-BASE.net のインストール先を指定する	3-25
3.17.3. 断面-BASE.net にて表示	3-26
3.17.4. DXF に出力する	3-26

断面-BASE.NET・操作マニュアル

Ver.0.5.0.0 2020/03：評価版

Ver.1.0.0.0 2021/03：正式版リリース開始

Ver.1.1.0.0 2024/04：指定可能データ形式追加、土質記号ベクタ形式出力、柱状図一覧出力機能、書式設定機能強化

発行所 基礎地盤コンサルタンツ株式会社
情報システム部・システム開発室

〒135-8577 東京都江東区亀戸 1-5-7 錦糸町プライムタワー12階

問合先 e-mail : レンタル版 : kiso-cloud@kiso.co.jp

1. 断面-BASE.NET の概要

断面-BASE.NET は「地層想定断面図・柱状一覧図」等を作成するシステムであり、断面-BASE/Win の後継製品となります。

本章では、断面-BASE.NET の概要について説明します。

1.1. 断面-BASE.NET とは…

「地質・土質成果電子納品要領（平成 28 年 10 月）」に規定されたボーリング交換用データ（CALSA 形式）を読み込み、「ボーリング柱状図及びボーリングコア取扱い・保管要領（案）・同解説（平成 27 年 6 月）」に対応した断面図を作成します。

本 Ver. では、読み込んだボーリング交換用データ（CALSA 形式）を断面図用の（ミニ）柱状図として並べ、地層境界線（領域）の描画機能を追加しましたが、作成した断面図を DXF（Drawing Exchange Format）形式でファイル出力し CAD に読み込んで地層境界線（領域）を描画することを前提としており、本機能は断面-BASE/Win に比較して Simple です。

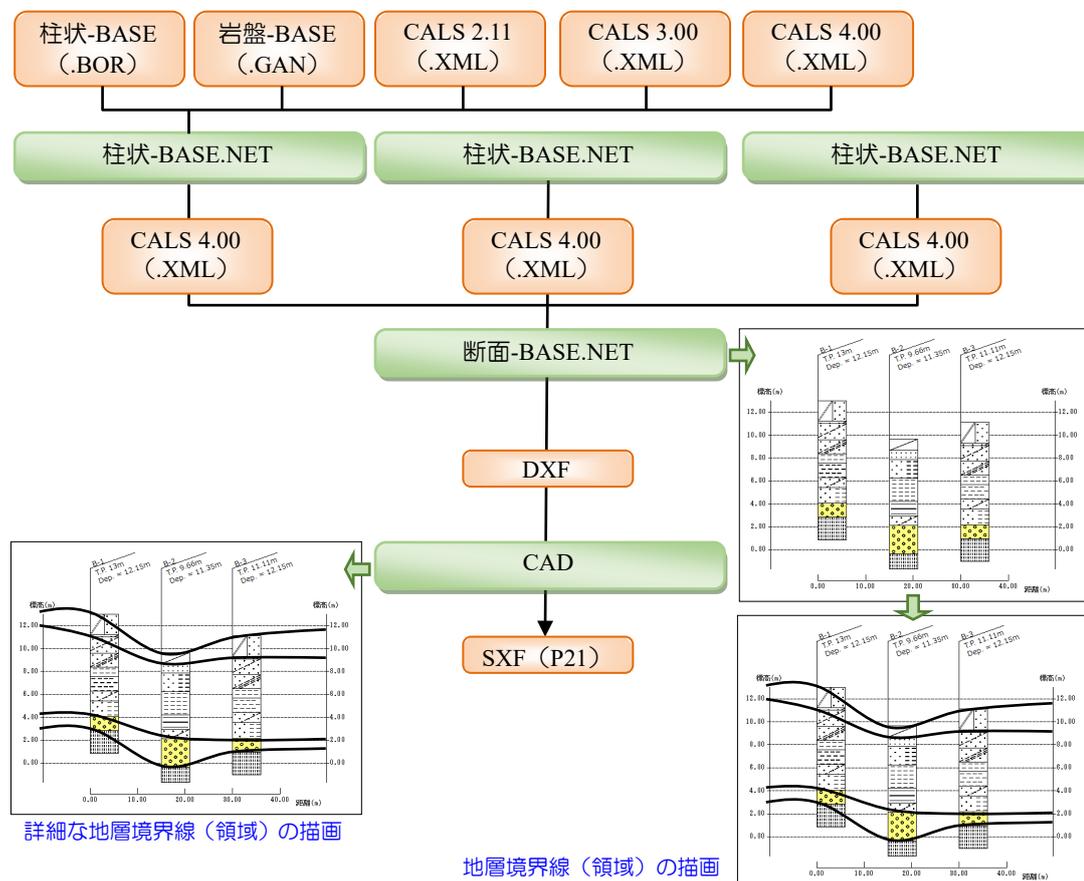
また Ver.1.1（2024/04）～は、ボーリング交換用データ以外の多様な貫入試験データ（原位置-BASE/Win：スクリュウウエイト・オランダ式・ポータブルコーン・簡易動的コーン）、液状化簡易計算結果（LIQ.NET）、断面-BASE/Win：汎用データなどの指定が追加されました。

一方、現在では CIM・BIM の流れもあり 2 次元断面から 3 次元断面への拡張のニーズも見られるため、断面-BASE.NET では、比較的軽量の 3 次元断面図（地層モデル化）処理の機能実装を将来 Ver. で念頭に置いています。

断面図処理は柱状図処理とは異なり非定形処理が主体となり多くの応用機能が考えられますが、闇雲に多様な機能実装を行うのではなく、できるだけユーザーのご要望に応じた機能実装を心がけるべく考えております。

このため、本システム利用を通じて機能要望を広く募りますので、**ぜひともご意見・ご希望をお寄せ下さい**ますようお願い致します。また、不具合・不合理な挙動など見つけれられた場合も、ご連絡をお願い致します。

ご意見・ご要望・ご連絡は kiso-cloud@kiso.co.jp 宛にメールにてお願い致します。



1.2. 柱状図模様および背景色の設定

断面-BASE.NET（柱状-BASE.NET）では独自の柱状図模様および背景色の設定機能について以下に示す機能を実装しています（既存の断面・柱状-BASE/Win では[SOILPAT.ASG]ファイルで規定していました）。

- ① 1つのコードに対し、図模様を最大3つ迄設定可能
- ② システムが用意した図模様だけでなく、ユーザが描画した図模様（png ファイル）を利用可能
- ③ 柱状図作成要領（案）で規定されたコード～模様設定に優先した設定が可能
- ④ 背景色（図模様背景に任意色の塗りつぶし）設定が可能
- ⑤ 専用の設定画面により、解り易い・ミスが起こりづらい設定が可能

※ なお、土質名（岩種区分）ではなく、コード（岩相コード・岩石コード・土コード・その他コード）に対し模様（土質記号）・背景色を割り当てます。

独自の柱状図模様および背景色の設定は、柱状-BASE.NET により指定します。操作方法の詳細は柱状-BASE.NET 操作マニュアル「4.5.柱状図背景色設定」「4.6.柱状図模様設定」を参照して下さい。

- 柱状-BASE.NET で設定した独自の柱状図模様を断面図にも反映させるため、柱状-BASE.NET のインストール先フォルダを明示的に指定するように Ver.1.1（2024/04～）システムを改修しました。
- 本改修により[Soilpat]フォルダの二重管理による問題点の解消と、柱状/土性-BASE.NET のインストール先フォルダをデフォルト以外に指定した場合にも機能利用が可能となりました。

1.3. Ver.1.1（2024/04～）の改修項目

Ver.1.1（2024/04～）において実施された改修項目について、以下に示します。

1.3.1. 指定可能データ形式の追加

指定可能データ形式が追加（以下の青字）となりました（【3.3.ポーリングXML等の読み込み】を参照）。

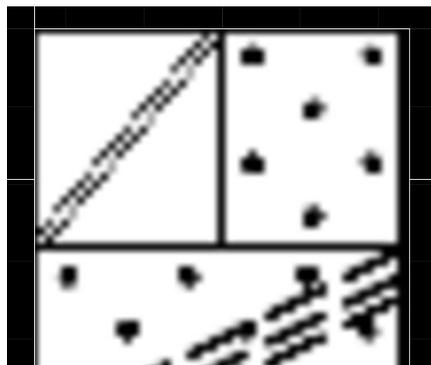
- ポーリング交換用データ[CALS4] (.xml .xmlb)
- 原位置-BASE/Win スクリューウエイト (.swd)
- 原位置-BASE/Win オランダ式 (.xml .dth)
- 原位置-BASE/Win B1431：ポータブルコーン (.xml)
- 原位置-BASE/Win B1433：簡易動的コーン (.xml)
- 断面-BASE/Win 汎用データ (.ded)
- 土性-BASE/Win .NET 土質試験結果一覧表データ[CALS4] (.xml)
- 土性-BASE/Win .NET 室内試験 (.sry)
- 液状化計算データ[LIQ.NET] (.xml)

1.3.2. 土質記号（図模様）をラスタ形式からベクタ形式に変更

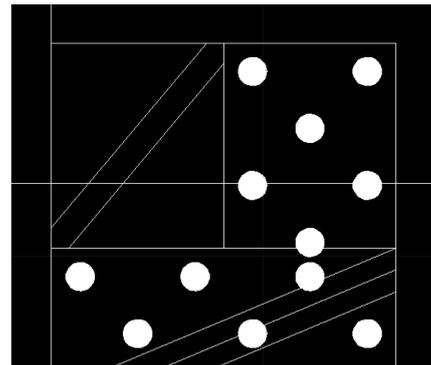
土質記号（図模様）をラスタ形式からベクタ形式に変更しました。

DXF 出力においてもベクタ形式で土質記号が出力されます。

柱状-BASE.NET にて指定した独自模様（ラスタ形式）も、そのまま使用可能です（【3.17.独自模様の利用】を参照）。



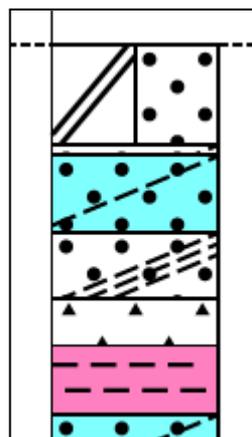
＜ラスタ形式＞



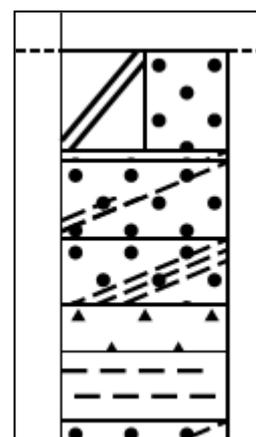
＜ベクタ形式＞

1.3.3. 土質記号（図模様）背景色の表示指定を追加

土質記号（図模様）背景色の表示・非表示を指定機能を追加しました（【3.4.ポーリングデータの表示設定】の⑮【図模様背景色描画】を参照。）



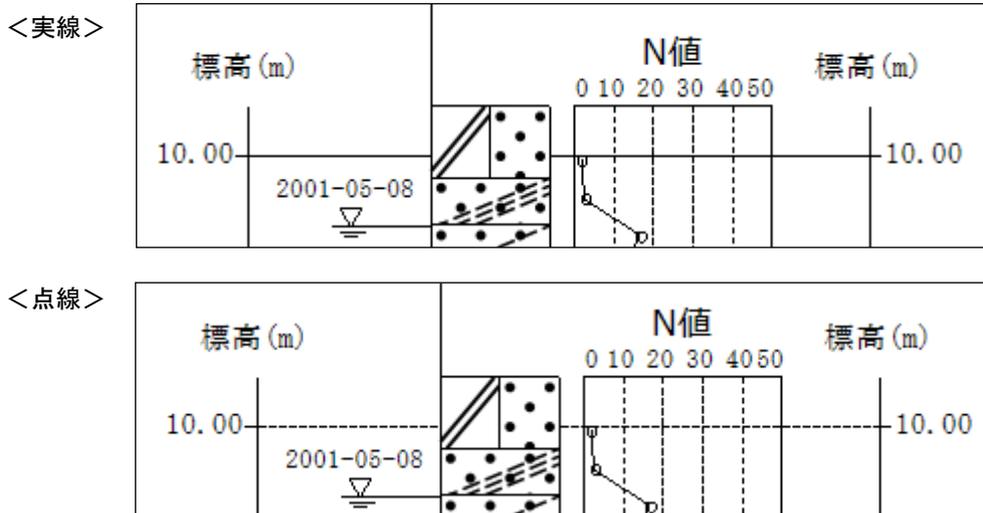
＜表示＞



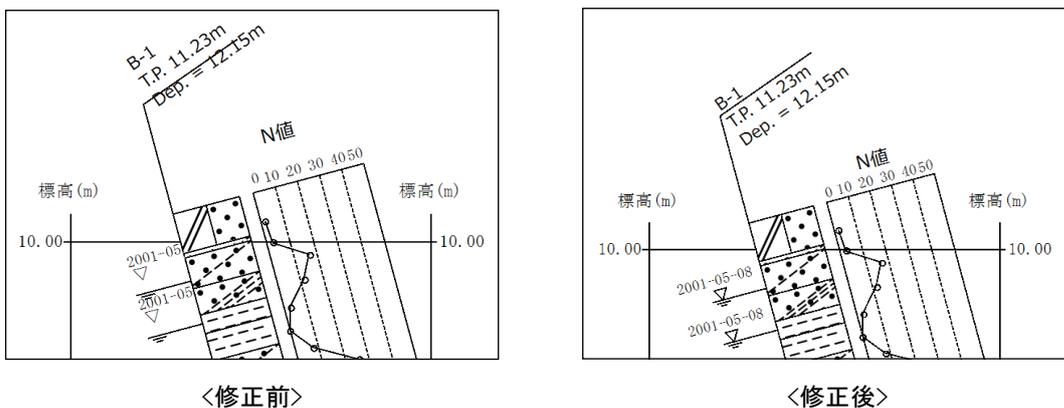
＜非表示＞

1.3.4. 書式設定機能の強化 (&不具合修正)

軸の書式設定にて、Y 軸の線種設定（実線・点線）を追加しました（【3.7 軸の書式設定】を参照）。



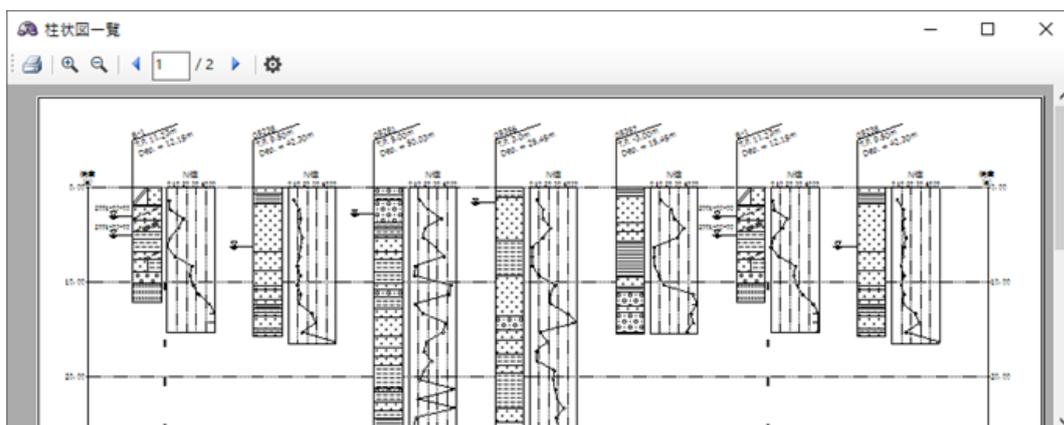
その他、表示が崩れる等の不具合を修正しました。



1.3.5. 柱状図一覧出力機能の追加

柱状図一覧出力機能を追加しました。

複数ページの柱状一覧図を、一度の操作で作成することが可能です（【3.12.柱状図一覧出力】を参照）。



1.4.よくある質問と回答

サポートセンターに寄せられる質問のうち、頻度の高いに打ちて以下に示します。

質問と回答 1

Q:原位置-BASE/Win B1433:簡易動的コーン貫入試験のデータをインポートしても試験データが表示されません。

A:H28年10月版電子納品要領から土質名称を入力する項目が削除となりましたので、H28年10月版形式でファイルを作成された場合は表示されません。

[ファイル] - [名前をつけて保存] の際、「国交省 H20.12」のボタンを選択してから [保存] ボタンを選択してください。

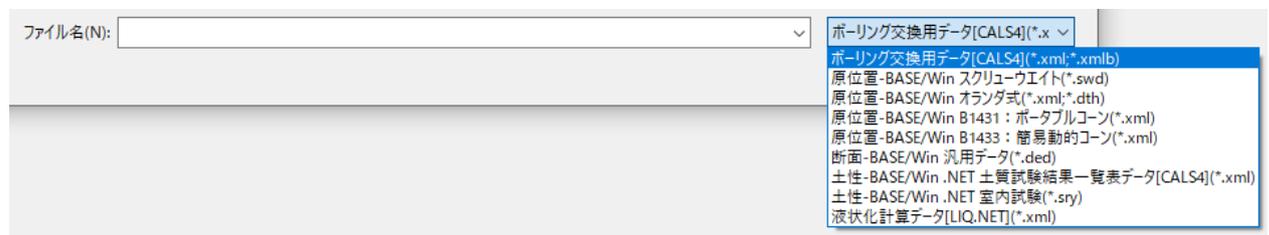
詳細マニュアルはこちら <https://kiso-cloud.com/ggs/BaseWin/pdf/b1433cation.pdf>

質問と回答 2

Q:追加するファイルが表示されません。(スクリュウウェイト,オランダ式,汎用データ,室内試験)。

A:拡張子の選択をする必要があります。

ファイル名の右側にあるボタンより選択してください。



2. インストールガイド

本章では[断面-BASE.NET]のシステム入手～インストール（アンインストール）～起動（認証）～終了について説明します（現在は「レンタル版」のみリリース）。

2.1. レンタル版の利用

レンタル版の利用方法について説明します。以下の説明と共に、Kiso-Cloudの「〇〇-BASEのレンタル運用」マニュアルも確認して下さい（<https://kiso-cloud.com/ggs/Manual/ManualBaseSrv.pdf>）。

2.1.1. ダウンロードおよびインストール

Kiso-Cloudの[〇〇-BASE]レンタル運用ページから使用するアプリケーションをダウンロードし、運用するPCにインストールします。

- ① Kiso-Cloudにログインし、メインメニューから[〇〇-BASE]レンタル運用をクリックします。
- ② [〇〇-BASE]レンタル運用画面で、[断面-BASE.NET]をクリックします。
- ③ フォルダを開きます。
- ④ ダウンロードファイルを右クリックし[開く]を選択します（zip解凍でも大丈夫です）。
- ⑤ [setup.exe]を起動し、インストールを開始します（インストール権限のあるユーザで実行して下さい）。
 - 実際の操作方法は、使用するブラウザおよびバージョンにより若干異なります。
 - setup.exe 起動後、Wizardの指示に従いインストールを行います。
 - レンタル版と販売版とを同一PCにインストールすることはできません！！

● Google Chrome を利用した場合は、以下の警告が表示される場合がありますが、▼→[継続]をクリックして下さい（提供直後はDL数が少なくChromeの勝手な判断を止められません）。

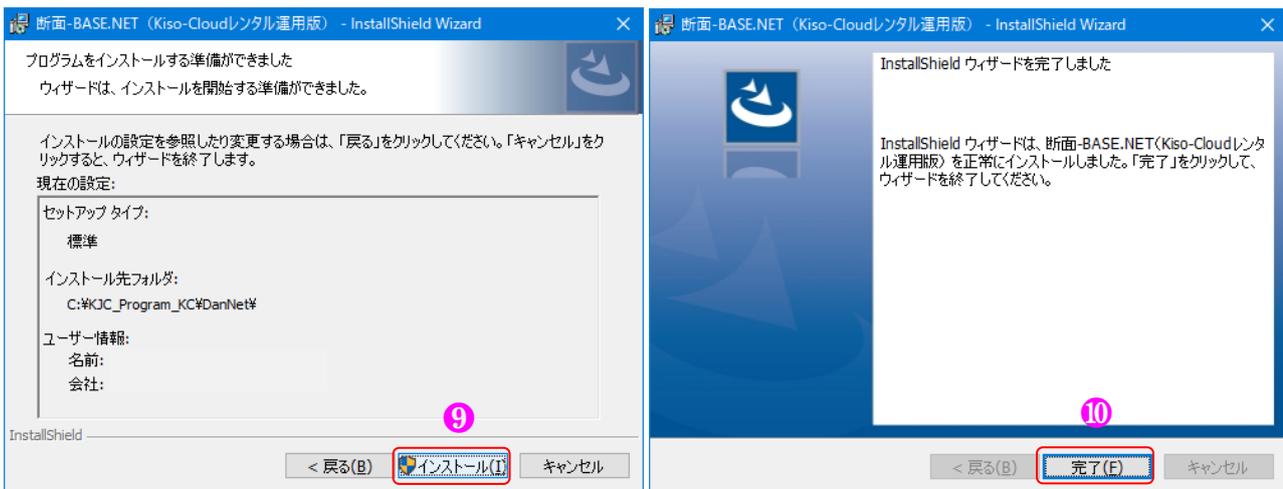
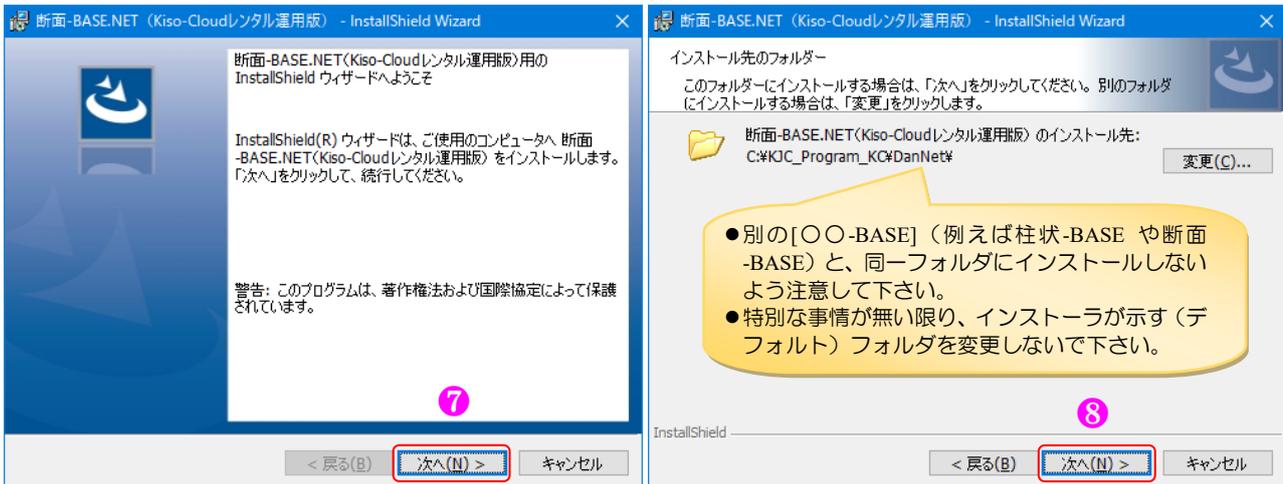
一般的にダウンロードされおらず、危険を及ぼす可能性があります。

ソフトウェアの名称	ソフトウェアの内容	Ver.	最新版Rel	ファイル容量	マニュアル
[登録PC即時解除]機能	Kiso-Cloud認証システム	1.0.1.8	2020/05/25	約1MB	[こちら]
柱状-BASE.NET	ボーリング柱状図作成 電子納品要領(H28/10)対応	1.0.2.29	2020/03/18	約33MB	[こちら]
土性-BASE.NET	土質試験結果一覧 土性図作成システム	2.0.1.0	2020/11/05	約1MB	[こちら]
断面-BASE.NET	断面図・柱状一覧図作成 電子納品要領(H28/10)対応	1.0.0.0	2021/03/31	約10MB	[こちら]
CALS-BASE.NET	電子納品成果作成支援ツール 電子納品要領(H28/10)対応	1.0.1.3	2018/08/23	約20MB	[こちら]
LIQ.NET	液化化簡易判定サービス	1.1.2.0	2020/06/06	約22MB	[こちら]
数量柱状図作成システム	数量柱状図・実施数量表作成	1.0.0.2	2020/08/08	約10MB	[こちら]
柱状-BASE/Win	JACIC様式土質柱状図作成	6.01	2020/01/25	約31MB	[こちら]

3 DanBaseNet.zip 9.8/9.8 MB

4 DanBaseNet.zip 2020/03/10 15:14 圧縮(zip...) ファイルフォルダ

5 setup.exe 2019/03/04 10:28 アプリケーション 10,442 KB



- インストールする PC の環境により（特に最新 OS 利用の場合）、セキュリティ警告が表示される場合がありますが、[実行][登録]などを選択してインストール作業を進めます。
- 再インストールの場合は、一旦アンインストールしてからインストールします。



2.1.2. アンインストール

アンインストールは、使用 OS により若干、操作方法が異なります。

- ① コントロールパネルの [プログラムと機能] ダイアログから[断面-BASE.NET]をクリックし、[アンインストール]をクリックすることにより実施します。
- ② あるいは、コントロールパネルの[プログラムの追加と削除]ダイアログから[断面-BASE.NET]をクリックし、[削除]ボタンを押すことにより実施します。
- ③ Windows10 では、[設定]→[システム]→[アプリと機能]から[断面-BASE.NET]をクリックし[アンインストール]→[アンインストール]をクリックすることにより実施します。



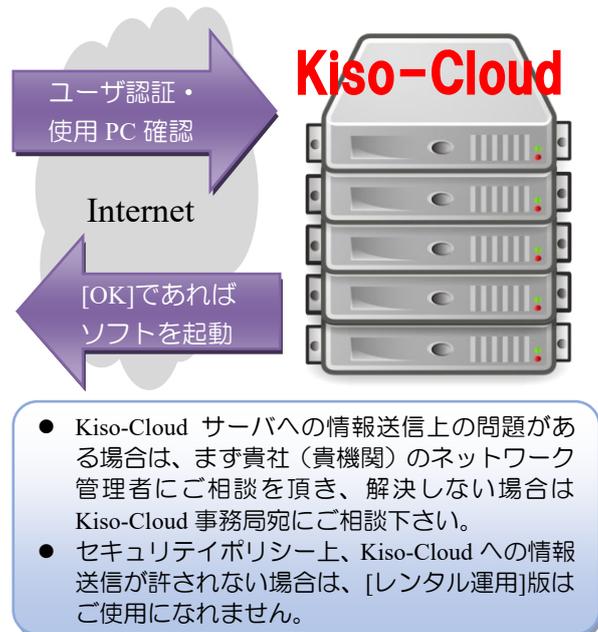
2.1.3. Kiso-Cloud 認証システム

レンタル版の場合、システム起動直後に Kiso-Cloud 認証システムにより正規ユーザであることの認証を行います。

(1) 起動時認証

起動時に **Kiso-Cloud** に対して認証処理を行うため、**Internet 接続環境が必要**です。

- ① 断面-BASE.NET 起動時に **Kiso-Cloud** 認証画面が表示されます。
- ② **Kiso-Cloud ID** (ユーザ名・パスワード) をキー入力します。
- ③ 次回起動時に保存 ID を利用する場合は[認証成功時のユーザ名/パスワードを記憶]をチェックします。
- ④ [持ち出し処理]を行う場合、持ち出し日数 (1~14) を選択します。
- ⑤ [認証]をクリックします…認証を通過すると断面-BASE.NET を起動します。
- ⑥ 断面-BASE.NET 起動を中止する場合は[キャンセル]をクリックします。



(2) ウイルス対策ソフトへの対応

Kiso-Cloud 認証システムでは、以下の情報を **Kiso-Cloud** サーバに送信します(これ以外の情報は送信しません)。

- ① ユーザ名 (入力値) ② パスワード (入力値) ③ 持ち出し日 (選択値)
- ④ コンピュータ名 ⑤ 起動システム名称 (断面-BASE.NET)

この「ローカルプログラムからインターネットサーバへのデータ送信」動作が、使用しているウイルス対策ソフトの種類および設定により、不正アプリケーションであると認識されてしまう場合があります。

この場合、ウイルス対策ソフトにより **Kiso-Cloud** サーバとの通信をブロックするか警告が出ますが、通信をブロックしない設定として下さい。

指定方法はウイルス対策ソフトにより異なりますが、以下に 1 例として「AVG アンチウイルス 無料版」での指定方法を示します。

(3) 動作中認証

動作中は定期的に認証が行われます（1 度起動すると認証操作なしで、使い続けることができます）。

この際、起動時認証時に入力された **Kiso-Cloud ID** を利用して自動的に認証を行うため、ユーザが意識する必要はありませんが、Internet 接続環境が遅い（悪い）場合は認証処理に時間がかかるため、認証処理中はシステムの動作が遅くなる可能性があります。

動作中認証に失敗すると[名前を付けて保存]処理を実施後、システムを強制終了するため、システム動作中は必ず Internet 接続環境を維持して下さい（認証後に Network ケーブルを外す、無線 LAN を切るなどできません）。

(4) 持ち出し処理

動作 PC を Internet 接続環境のない現場に持ち出す、あるいは Internet 接続環境が安定しない場合は[持ち出し処理]を実施して下さい。操作は[1] 起動時認証 ④を参照下さい。

[持ち出し処理]中は、Kiso-Cloud 認証処理を行わないため上記ケースに対応しますが、以下の制限が発生します。

- 動作させる PC を変更することができません。
- Kiso-Cloud を解約することができません。

※ [持ち出し処理]中は[持ち出し終了]ダイアログが表示されなくなりました（Ver.1.0.1.*～）。

※ 後述する[登録 PC 即時解除]機能により、**[持ち出し処理]中でも解除が可能**となりました。登録 PC を解除すると自動的に[持ち出し処理]も解除となります。

※ **Kiso-Cloud** がメンテナンス等で停止する場合は、前もってメールにてお知らせするため、停止前に停止期間 + α で[持ち出し処理]を実施して下さい。

(5) 緊急避難措置（Ver.1.0.1.*～）

緊急避難措置とは、Kiso-Cloud サーバ障害あるいはネットワーク障害等により、Kiso-Cloud サーバと通信ができない場合に（**一度だけ**）7 日間の[持ち出し処理]に移行することで、Kiso-Cloud 認証を回避して利用を続けられる措置を言います。

適用には以下の条件を満たす必要があります。満たす場合は認証(緊急避難措置)ダイアログが表示されます。

- 使用 PC が、過去に正しく認証された経験を持つ（緊急避難措置は、直近の正しく認識されたアカウント ID で実施されるためです）。
- 最終認証後に、(6)に示す[登録 PC 解除]処理を実施していない。

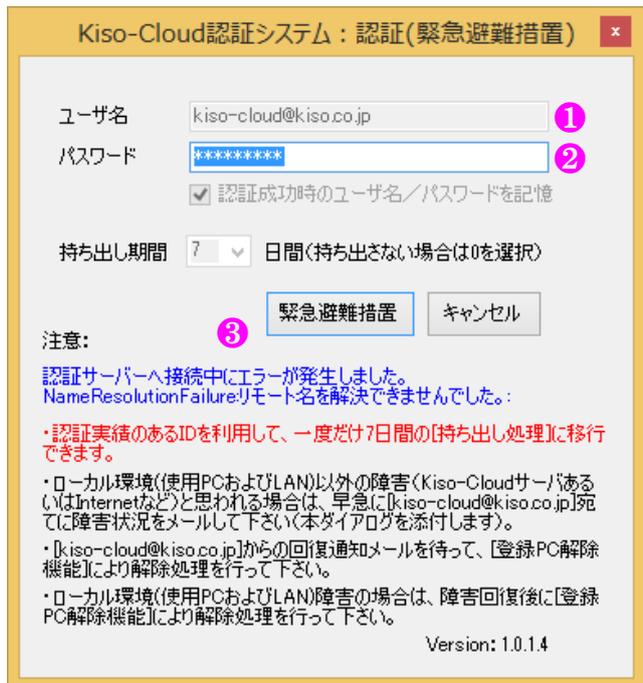
レンタル運用を正しく運用している状態で障害が発生した場合は、上記条件を満足するため、緊急避難措置が適用されます。

① ユーザ名には、直近の正しく認識された **Kiso-Cloud ID** が表示され変更できません。

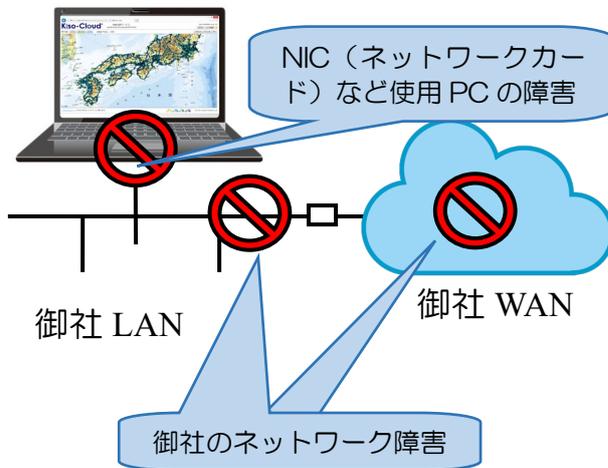
② 対応するパスワードを入力します（認証時に[認証成功時のユーザ名/パスワードを記憶]がチェックされていた場合はパスワードも*表示されます）。

③ [緊急避難措置]をクリックすると、Kiso-Cloud 認証を回避して 7 日間の[持ち出し処理]に移行します。

- ローカル環境(使用 PC および LAN)以外の障害(Kiso-Cloud サーバあるいは Internet など)と思われる場合は、早急に[kiso-cloud@kiso.co.jp]宛てに障害状況をメールして下さい（本ダイアログを添付します）。
- [kiso-cloud@kiso.co.jp]からの回復通知メールを待って、[登録 PC 解除機能]により解除処理を行って下さい。
- ローカル環境(使用 PC および LAN/WAN)障害の場合は、障害回復後に[登録 PC 解除] 機能により解除処理を行って下さい。



- ① ローカル環境(使用 PC および LAN/WAN)障害の場合は、御社の情報システム部門にご相談のうえ、障害回復をお願いします。
- ② 障害回復後、[登録 PC 解除機能]により解除処理を行って下さい。



- ① ローカル環境障害以外(と想定される)場合は、早急に[kiso-cloud@kiso.co.jp]宛てに障害状況をメールして下さい。
- ② [kiso-cloud@kiso.co.jp]からの回復通知メールを待って、[登録 PC 解除機能]により解除処理を行って下さい。



(6) [登録 PC 解除]処理

「断面-BASE.NET の動作 PC を変更する」ためには、[登録 PC 解除]処理を行う必要があります。

- ① Kiso-Cloud にログインし、メインメニューから [〇〇-BASE]レンタル運用をクリックします。
- ② [登録 PC 即時解除]機能をクリックし、インストーラをダウンロードしてインストールします(インストール方法の詳細は、[2.1.1.ダウンロードおよびインストール]を参照)。
- ③ レンタル運用対象となるシステムが起動していると解除処理ができないため、前もってシステムを終了しておきます。

- 断面-BASE.NET には販売版とレンタル版とがありますが、本システムからはレンタル版であることが分からないので、販売版起動中でも警告が出ます。申し訳ありませんが販売版も一旦終了願います。

- ④ メニュー[地質調査ソフトウェア (Kiso-Cloud レンタル運用)]-[登録 PC 即時解除]をクリックします。→[登録 PC 即時解除]ダイアログが表示されます。

- ウイルス対策ソフト等により通信をブロックする警告が出た場合、通信をブロックしない設定とします。

- ⑤ 解除すべき PC に紐付いている Kiso-Cloud ユーザ ID ([ユーザ名(メールアドレス)] [パスワード]) をキー入力し、[登録 PC 解除]をクリックします。

- 予約解除：Web サービスによる[登録 PC 解除]処理(操作日の翌朝実施されるため、同一日以内での動作 PC 変更は不可能)は 2017/07 末で終了となりました。
- 「〇〇-BASE の動作 PC を直ぐに変更したい!!」とのご要望を受け、専用プログラムによる即時解除機能を 2017/05~追加しました。また、2017/08~は持ち出し処理中でも解除可能となるよう機能改良しました。

ソフトウェアの名称	ソフトウェアの内容	Ver.	最新版Rel	ファイル容量	マニュアル
[登録PC即時解除]機能	Kiso-Cloud認証システム	1.0.1.4	2017/08/01	約2MB	[こちら]
柱状-BASE.NET(製品版)	地質・土質成果電子納品要領 (H28/10)対応	1.0.2.0	2017/08/01	約25MB	[こちら]
柱状-BASE/Win	JACIC様式土質柱状図作成	6.01	2016/06/11	約31MB	[こちら]
断面-BASE/Win	カラー断面図作成	6.03	2015/12/07	約10MB	[こちら]
土性-BASE/Win	土性、相関、深度分布図作成	4.00d	2015/12/19	約10MB	[こちら]
土性-BASE-CALS4コンバータ	土質試験結果一覧表データ	1.0.0.1	2017/07/09	約12MB	[こちら]
岩盤柱状-BASE/Win	JACIC様式岩盤柱状図作成	6.01	2015/12/19	約33MB	[こちら]
原位土-BASE/Win (平成28年10月：電子納品要領対応)					
スウェーデン式サンディング試験	結果図・記録用紙	6.00	2017/04/09	約12MB	[こちら]
オランダ式二重管コーン貫入試験	結果図・記録用紙	5.00	2017/04/09	約12MB	[こちら]
孔内水圧監視試験 [TYPE-A]	LLT結果表・作図	4.00	2017/04/09	約10MB	[こちら]
孔内水圧監視試験 [TYPE-B]	プレシオメータ結果表・作図	4.00	2017/04/09	約10MB	[こちら]

注意:

- ・[即時解除]処理は登録PCからのみ実施可能です。
- ・持ち出し処理中でも[即時解除]可能となりました。

Version: 1.0.1.4

(7) エラーメッセージ

Kiso-Cloud 認証システムが表示する主なエラーメッセージおよび対処方法について下表に示します。

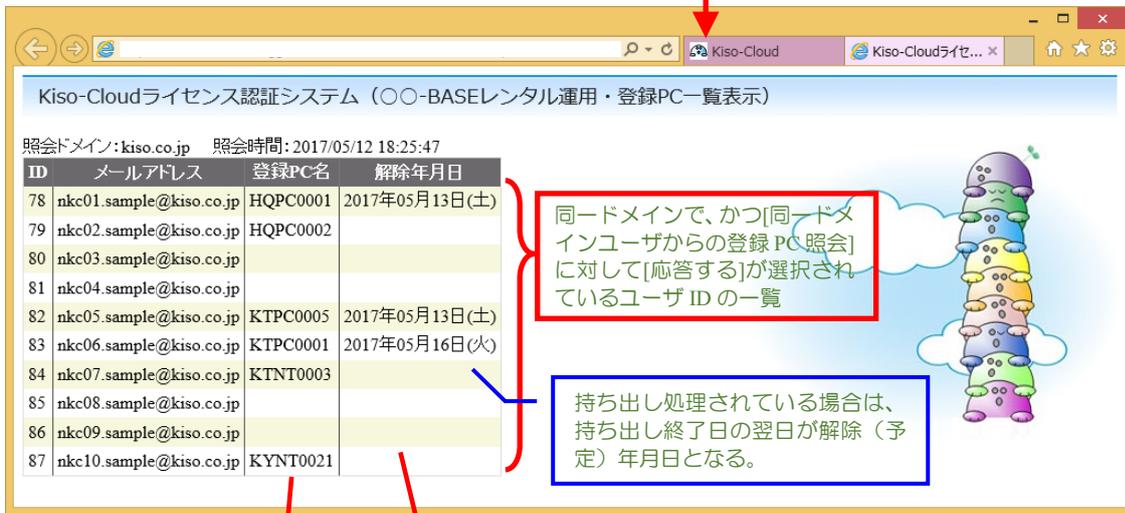
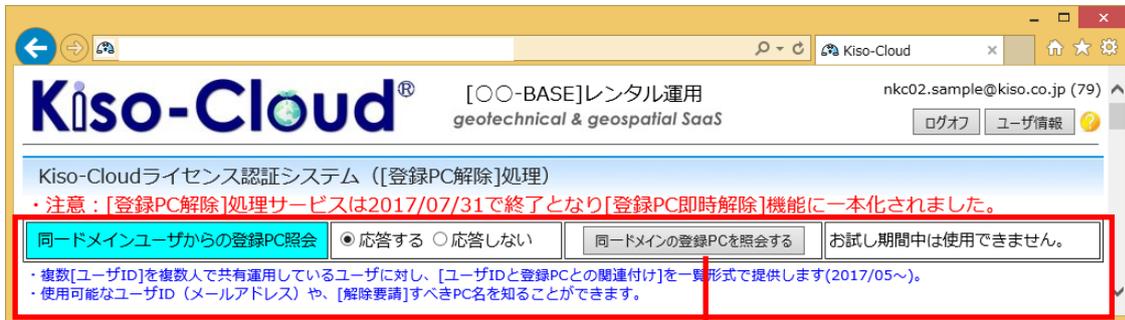
エラーメッセージ	対処方法	認証	解除
サーバとの時間差が5分以上あるため、認証処理を実施できません。	使用している PC の時間を正しく修正して下さい。	○	○
ユーザ認証 (ログイン) に失敗しました。	Kiso-Cloud の ID として正しいことを確認して下さい。	○	○
利用パターンが異なります ([パターン 2]あるいは[パターン 3]でなければ動作しません)。	有償サービス[パターン 2 あるいは 3]の申し込みが有効であることを確認して下さい。	○	○
別 PC (登録コンピュータ名) が登録されているため、本システムを実行できません。	表示されたコンピュータから[登録 PC 解除]処理を行い、解除後に再度、〇〇-BASE を起動および認証して下さい。	○	
指定されたユーザ ID では PC が登録されていないため、他 PC でのライセンス認証が可能です。	既に[登録 PC 解除]済みです。		○
登録 PC が異なります (即時解除)処理は登録 PC からのみ実施可能です)。	登録した PC とは別の PC から実施した場合に表示されます。		○

(8) [登録 PC 一覧表示]機能 (2017/05~)

複数[ユーザ ID]を複数人で共有運用しているユーザに対し、[ユーザ ID と登録 PC との関連付け]を一覧形式で提供します。使用可能なユーザ ID (メールアドレス) や、[解除要請]すべき PC 名を知ることができます。

提供可能な範囲は同一ドメインで、かつ[同一ドメインユーザからの登録 PC 照会]に対して[応答する]が選択されているユーザ ID となります。

- [同一ドメインユーザからの登録 PC 照会]に対して、自身の[ユーザ ID と登録 PC との関連付け]を開示する場合は[応答する]を、開示しない場合は[応答しない]をクリックします。
- [同一ドメインの登録 PC を照会する]ボタンをクリックすると、登録 PC 一覧[ユーザ ID と登録 PC との関連付け]が表示されます。



[登録 PC 名]欄がブランドのユーザ ID は、運用 PC を直ぐに変更

[登録 PC 解除]処理を実施済みのアカウントは解除 (予定) 年月日が表示される (暫定)。Web サービスによる[登録 PC 解除]処理は 2017/07 末で終了となった為、解除年月日は不要となります。

3. 操作説明

3.1. 断面-BASE.net の起動

- ① Windows タスクバーの[スタート]ボタンをクリック
- ② [すべてのアプリ]あるいは[すべてのプログラム]をクリック
- ③ [地質調査ソフトウェア（Kiso-Cloud レンタル運用）]をクリック
- ④ [断面-BASE.NET]をクリック

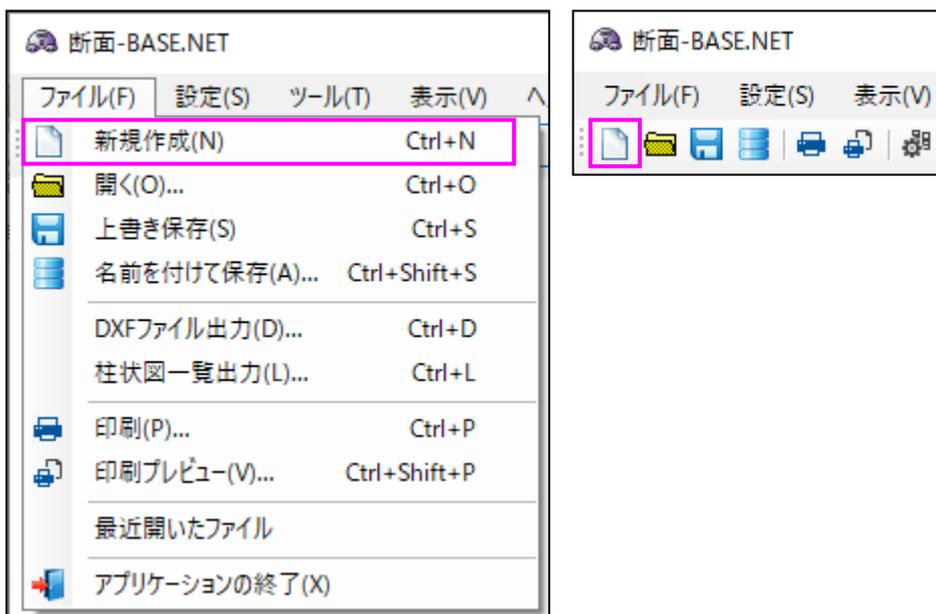
注意事項

- Windows のディスプレイ設定にて拡大を行うと表示が崩れる場合があります。その場合はサイズを 100%に設定してご利用ください。



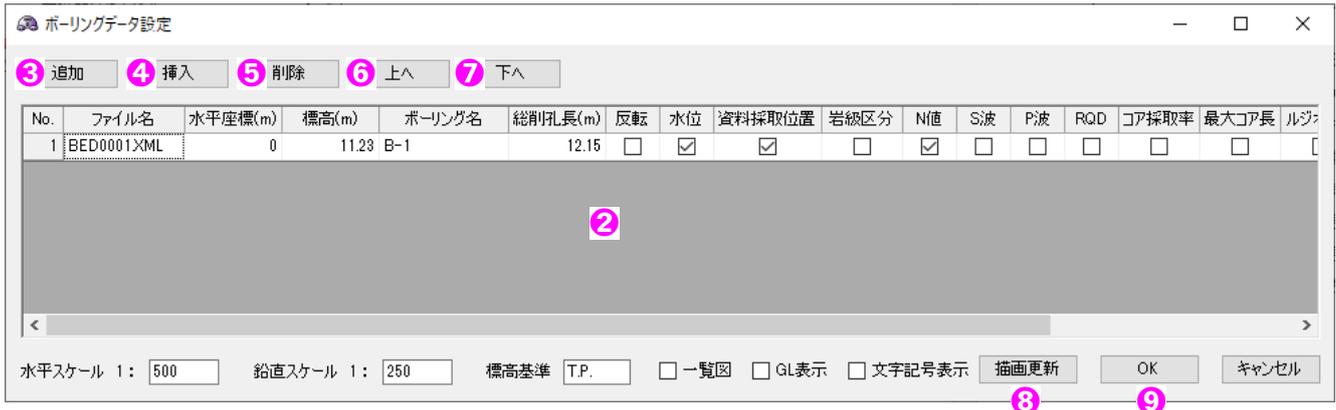
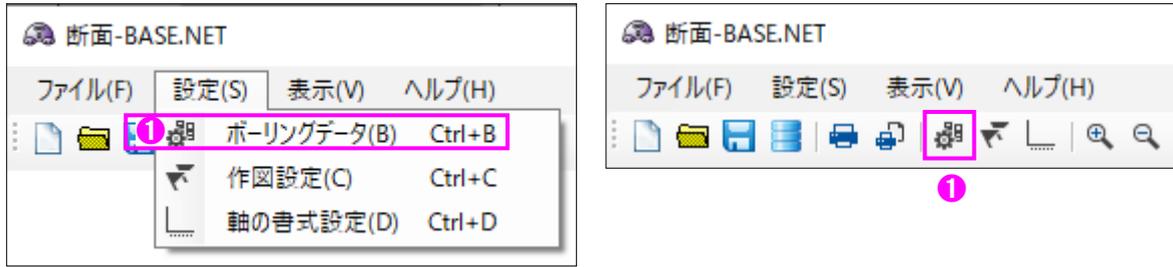
3.2. 断面図の新規作成

メニュー[ファイル]→[新規作成]または、新規作成アイコンをクリックすると断面図を新規作成します。



3.3. ボーリング XML 等の読み込み

断面図に表示するボーリングファイル(.xml および .xmlb)を指定します(CALS4形式:BED0400.DTDのみ可能)。



- ① メニュー[設定]→[ボーリングデータ]をクリック→[ボーリングデータ設定]ダイアログを表示します。
- ② 読み込んだファイルが一覧に表示されます。ドラッグで読み込むファイルを追加する事もできます。
- ③ [追加]ボタンをクリック→[ファイル選択]ダイアログを表示し、読み込むファイルを選択します。
([Shift]キーまたは[Ctrl]キーを押しながらクリックする事で、複数のファイルを同時に選択可能)
- ④ 一覧に読み込んだデータの途中にファイルを追加する場合に使用します。
[追加]ボタンをクリック→[ファイル選択]ダイアログを表示し、読み込むファイルを選択します。
- ⑤ 一覧に読み込んだデータを削除する場合、対象のデータを選択後に[削除]ボタンをクリックします。
- ⑥ 一覧に読み込んだデータの順序を繰り上げる場合、対象のデータを選択後に[上へ]をクリックします。
- ⑦ 一覧に読み込んだデータの順序を繰り下げる場合、対象のデータを選択後に[下へ]をクリックします。
- ⑧ [描画更新]ボタンをクリックすると、断面図のプレビューを更新します。
- ⑨ [OK]ボタンをクリックすると、設定画面を閉じて断面図を表示します。

*指定できるファイルのデータ形式は次の通りです。

- ・ボーリング交換用データ[CALS4] (.xml .xmlb)
- ・原位置-BASE/Win スクリューウエイト (.swd)
- ・原位置-BASE/Win オランダ式 (.xml .dth)
- ・原位置-BASE/Win B1431:ポータブルコーン (.xml)
- ・原位置-BASE/Win B1433:簡易動的コーン (.xml)
- ・断面-BASE/Win 汎用データ (.ded)
- ・土性-BASE/Win .NET 土質試験結果一覧表データ[CALS4] (.xml)
- ・土性-BASE/Win .NET 室内試験 (.sry)
- ・液状化計算データ[LIQ.NET] (.xml)

3.4. ボーリングデータの表示設定

ボーリングデータの表示に関して設定します。



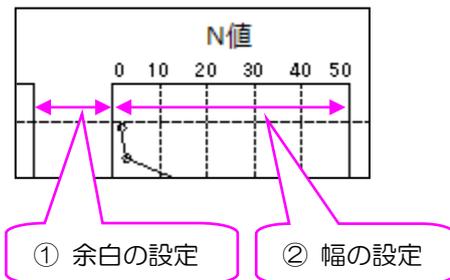
- ① [ファイル名] 読み込んだファイル名を表示
(※ 右クリックして[ファイル名をフルパスで表示する]をクリックするとフルパス表示となる)
- ② [水平座標(m)] ボーリング間の距離を設定
- ③ [標高(m)] ボーリングの標高を設定
- ④ [ボーリング名] ボーリングの表示名を設定
- ⑤ [総削孔長(m)] 旗に表示する総削孔長(Dep.)を設定
- ⑥ [反転] チェック ON で反転表示
- ⑦ [水位～水位変動] チェック ON で該当の項目を表示
- ⑧ [深度分布図設定] 各種項目の詳細設定ダイアログを表示 → 2.5 深度分布図設定
- ⑨ [水平スケール] 水平方向 (X 軸) の縮尺を設定
- ⑩ [鉛直スケール] 鉛直方向 (Y 軸) の縮尺を設定
- ⑪ [標高基準] 軸に表示する標高の文字を設定※標高基準の文字列の描画のみ反映されます。
(標高の数値は変化しません)
- ⑫ [一覧図] チェック ON：柱状図を等間隔に並べる、チェック OFF：柱状図を水平座標の距離を元に並べる
- ⑬ [GL 表示] チェック ON：深度表示、チェック OFF：標高表示
- ⑭ [文字記号表記] チェック ON：柱状図に文字記号を表記する、チェック OFF：柱状図に文字記号を表記しない
- ⑮ [図模様背景色描画] チェック ON：柱状図背景色を表示する、チェック OFF：柱状図背景色を表示しない

3.5. 深度分布図設定

断面図に表示する項目の書式を設定します。

3.5.1. ボーリング柱状図の場合

- ① 図の左側の余白を設定
- ② 表示する図の幅を設定
- ③ 設定を初期値に戻します
- ④ 現在の設定と同じ値を他の柱状図にも反映させます
- ⑤ 現在の設定を確定し、深度分布図設定ダイアログを閉じます



3.5.2. 土質試験結果の場合

深度分布図設定

ボーリング スクリューウェイト オランダ式 ポータブルコーン 簡易動的コーン **土質試験結果** 汎用データ 液状化

試験情報
 旗の表示

液性・塑性・自然含水比
 書式
 左余白(mm) 0 幅(mm) 40

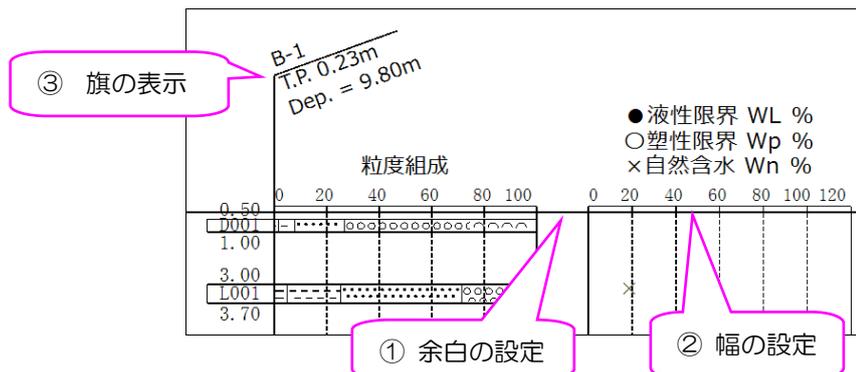
湿潤・乾燥・間隙比
 書式
 左余白(mm) 0 幅(mm) 40

圧密・一軸・圧縮指数
 書式
 左余白(mm) 0 幅(mm) 40

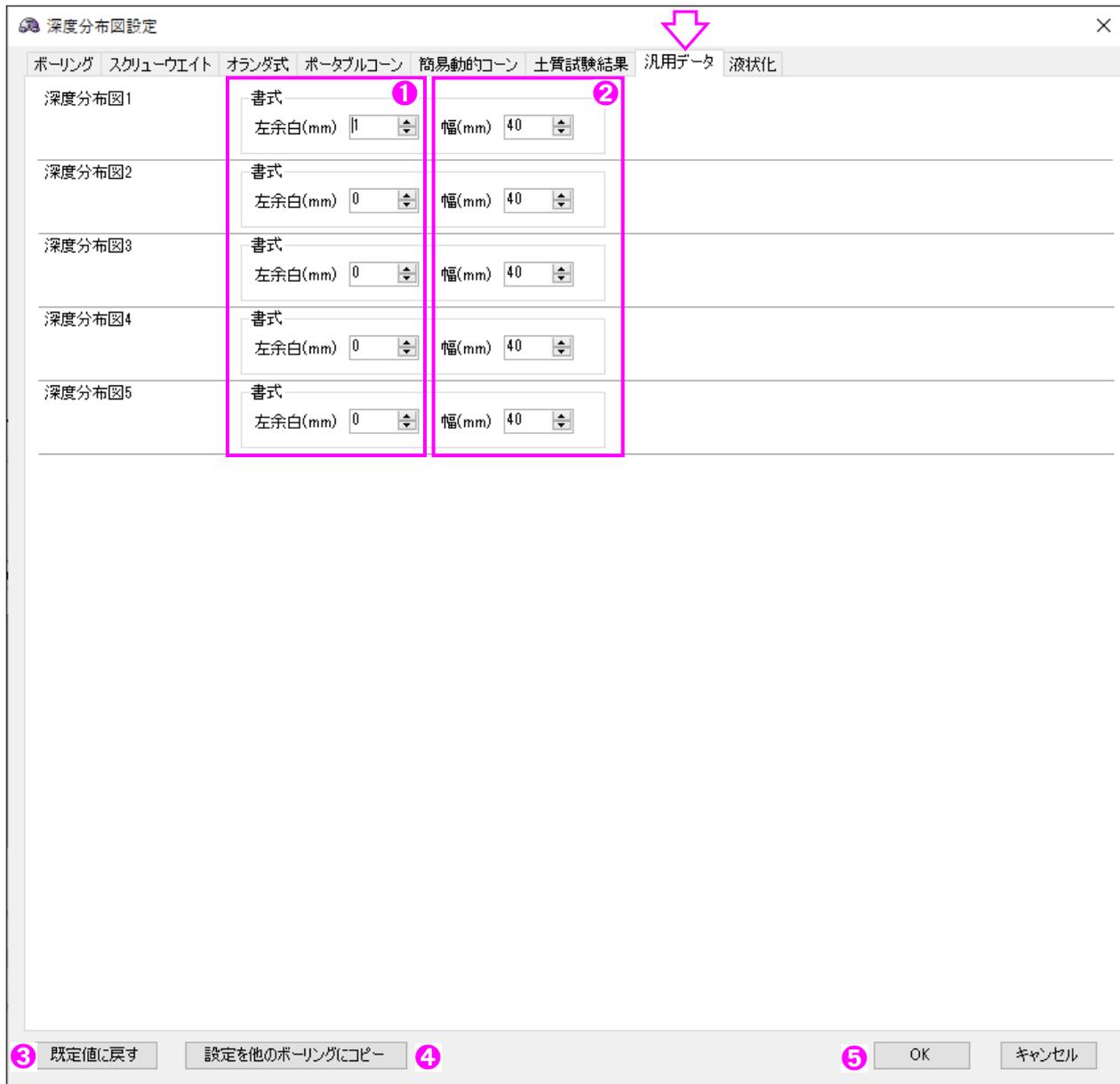
せん断抵抗角・粘着力
 書式
 左余白(mm) 0 幅(mm) 40

既定値に戻す 設定を他のボーリングにコピー OK キャンセル

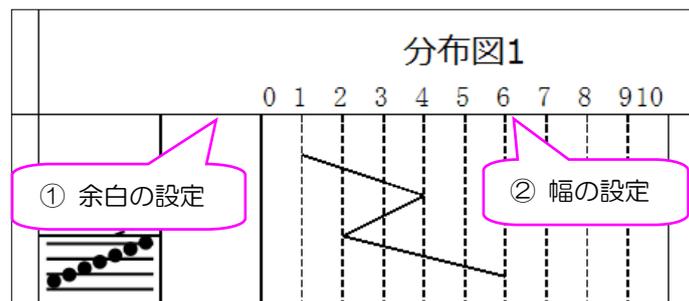
- ① 図の左側の余白を設定
- ② 表示する図の幅を設定
- ③ 旗の表示を設定
- ④ 設定を初期値に戻します
- ⑤ 現在の設定と同じ値を他の柱状図にも反映させます
- ⑥ 現在の設定を確定し、深度分布図設定ダイアログを閉じます



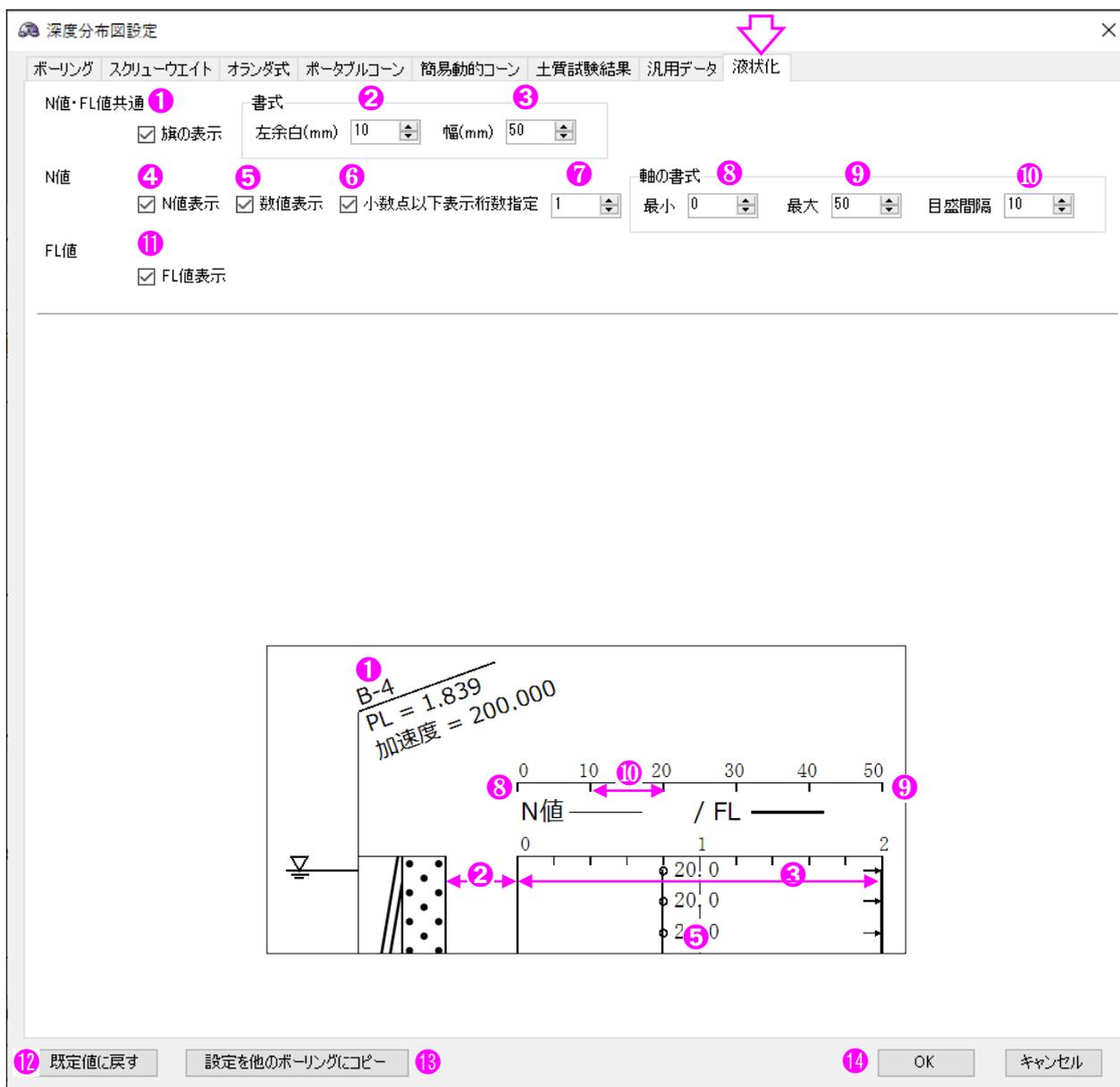
3.5.3. 汎用データの場合



- ① 図の左側の余白を設定
- ② 表示する図の幅を設定
- ③ 設定を初期値に戻します
- ④ 現在の設定と同じ値を他の柱状図にも反映させます
- ⑤ 在の設定を確定し、深度分布図設定ダイアログを閉じます



3.5.4. 液状化の場合



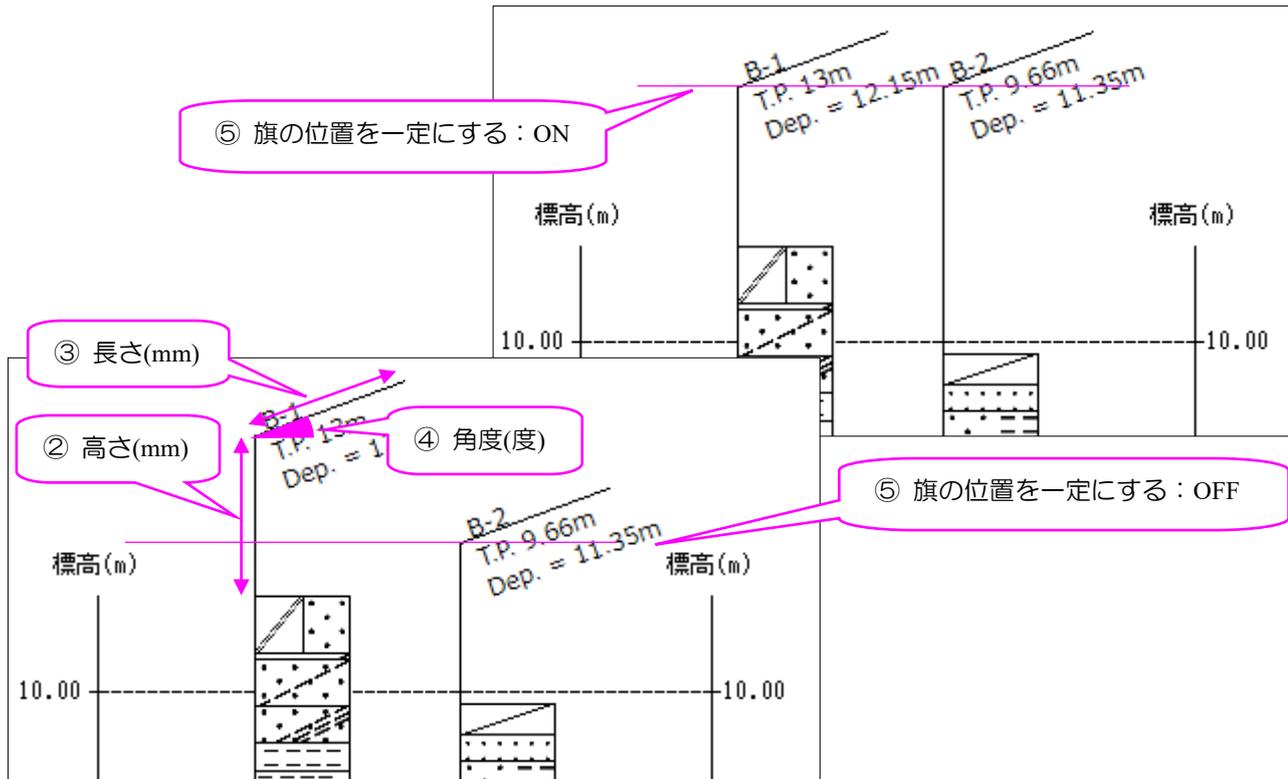
- ① 旗の表示を設定
- ② 図の左側の余白を設定
- ③ 表示する図の幅を設定
- ④ N値のグラフ表示を設定
- ⑤ N値の数値表示を設定
- ⑥ N値の数値の小数点以下表示桁数設定のON/OFF
- ⑦ N値の数値の小数点以下表示桁数を設定
- ⑧ N値の横軸の最小値を設定
- ⑨ N値の横軸の最大値を設定
- ⑩ N値の横軸の目盛間隔を設定
- ⑪ FL値のグラフ表示を設定
- ⑫ 設定を初期値に戻します
- ⑬ 現在の設定と同じ値を他の柱状図にも反映させます
- ⑭ 現在の設定を確定し、深度分布図設定ダイアログを閉じます

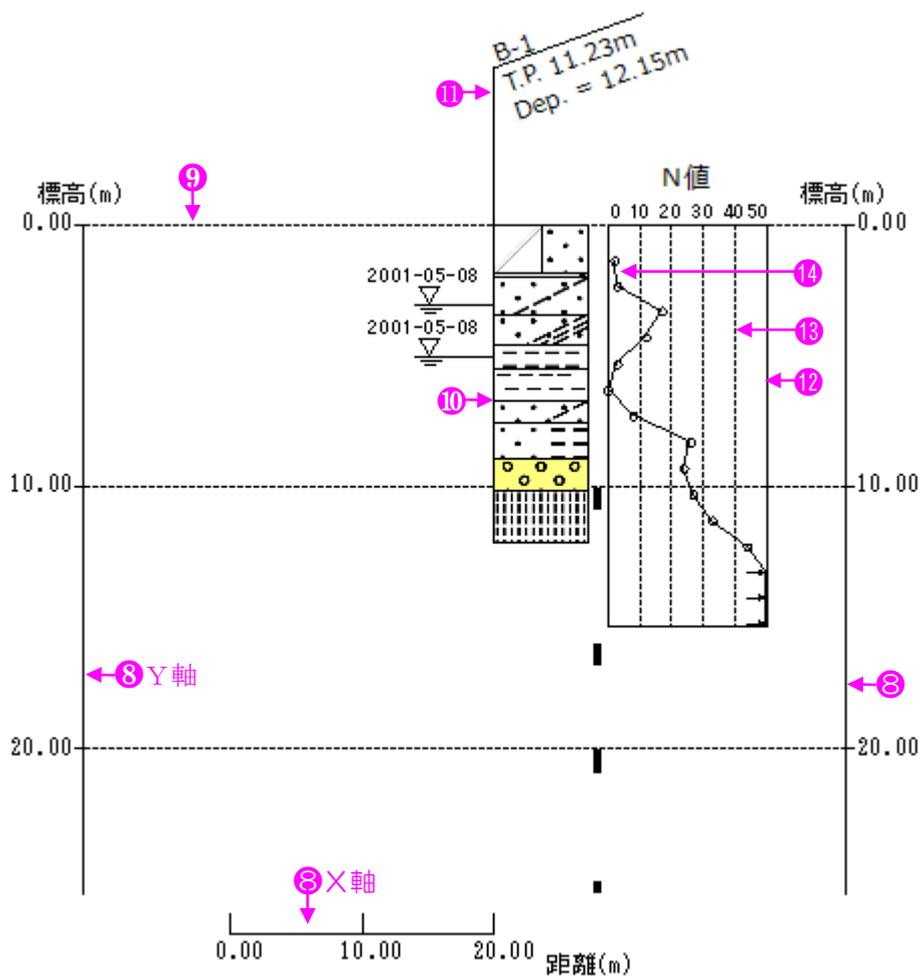
3.6. 作図設定

旗の表示形式・線の太さを変更する事ができます。



- ① メニュー[設定]→[作図設定]をクリック→[作図設定]ダイアログを表示します。
- ② [高さ(mm)] 旗の高さを指定
- ③ [長さ(mm)] 旗の長さを指定
- ④ [角度(度)] 旗の角度を指定
- ⑤ [旗の位置を一定にする] 旗の高さを標高が一番高い柱状図に揃える
- ⑥ [OK]ボタンをクリックすると、設定内容が柱状図一覧に反映されます
- ⑦ [既定値に戻す]ボタンをクリックすると、入力内容を初期化します

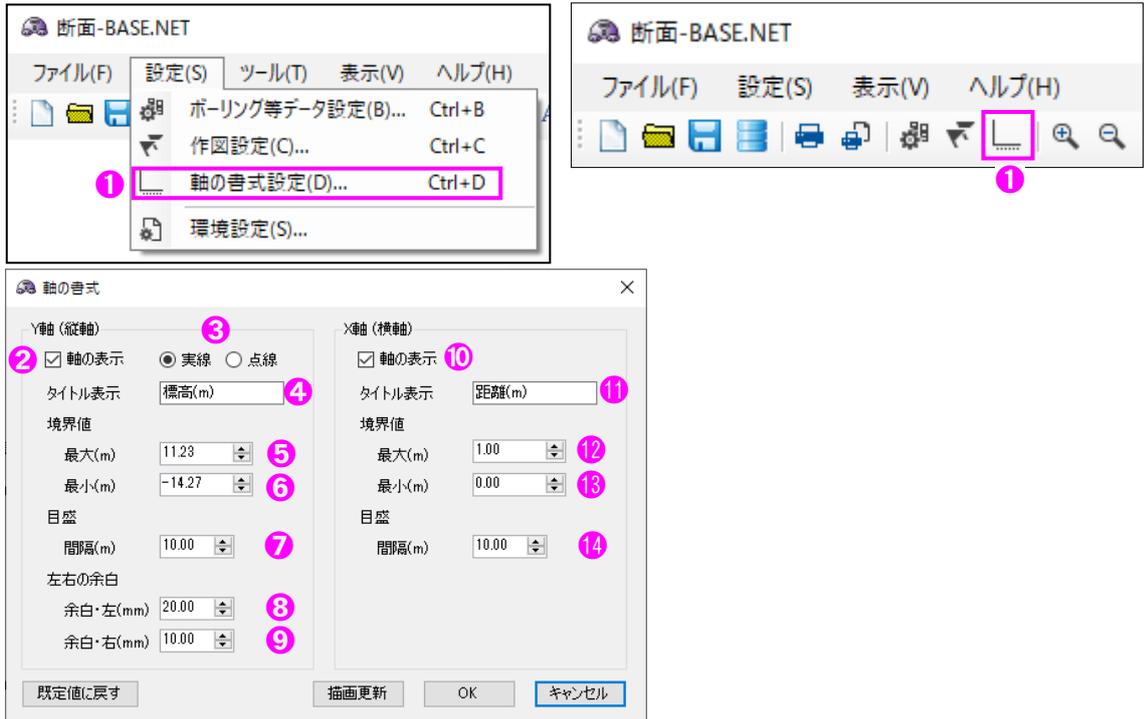




- ⑧ [XY 軸] X 軸と Y 軸の線の太さを指定
- ⑨ [標高線] 目盛りの線の太さを指定
- ⑩ [柱状図] 柱状図に描画する線の太さを指定
- ⑪ [旗] 旗の線の太さを指定
- ⑫ [図の枠線] 図の枠線の太さを指定
- ⑬ [図の目盛り線] 図の目盛り線の太さを指定
- ⑭ [図・グラフ] グラフの太さを指定

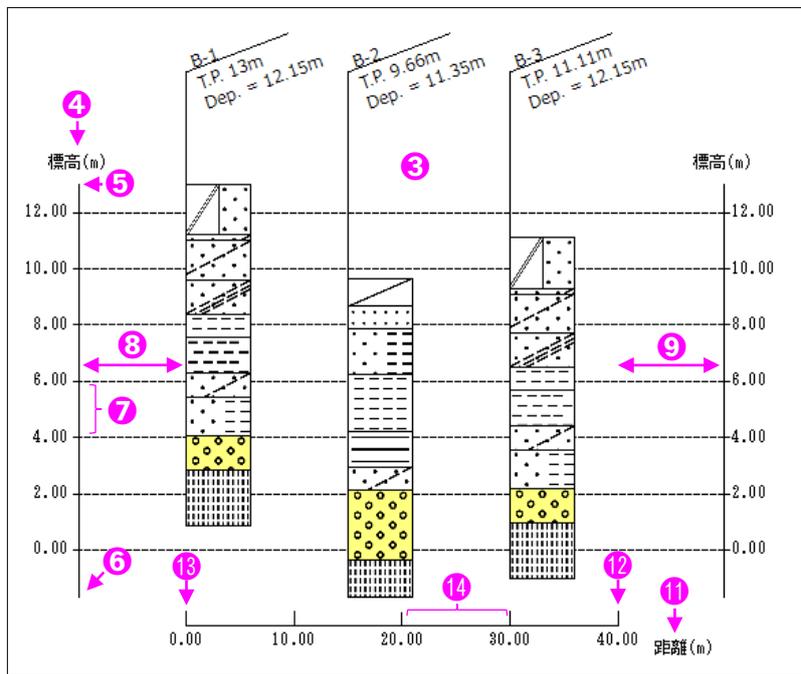
3.7. 軸の書式設定

軸の表示形式を変更する事ができます。



① メニュー[設定]→[軸の書式]をクリック→[軸の書式]ダイアログを表示します。

【Y 軸】	【X 軸】
② [軸の表示] Y 軸の表示/非表示を切り替え	⑩ [軸の表示] X 軸の表示/非表示を切り替え
③ [軸の表示] Y 軸の実線/点線を切り替え	⑪ [タイトル] X 軸の表示名を指定
④ [タイトル] Y 軸の表示名を指定	⑫ [最大(m)] 目盛の最大距離を指定
⑤ [最大(m)] 目盛の最大標高を指定 (GL 表示は 0m に固定)	⑬ [最小(m)] 目盛の最小距離を指定
⑥ [最小(m)] 目盛の最小標高を指定	⑭ [目盛間隔(m)] 目盛の間隔を指定
⑦ [目盛間隔(m)] 目盛と補助線の間隔を指定	
⑧ [余白・左(mm)] 左端の柱状図の余白の大きさを指定	
⑨ [余白・右(mm)] 右端の柱状図の余白の大きさを指定	



3.8.断面（層境界線）の作成・編集

断面（層境界線）の作成、編集を行います。

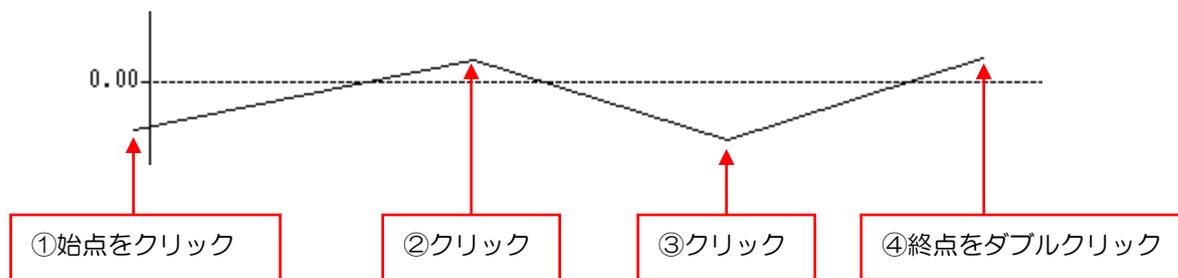
まず層境界線を追加し、その後に層を指定することで作成します。

- ① [選択] 境界線や層を選択する
- ② [層境界線の追加] 境界線を追加する
- ③ [層境界線の線種] 境界線の外観を変更する
- ④ [削除] 境界線を削除する
- ⑤ [文字列] 文字列を追加する
- ⑥ [矢印] 矢印を追加する
- ⑦ [凡例画像の挿入] 凡例画像を挿入する
- ⑧ [凡例画像の削除] 凡例画像を削除する
- ⑨ [直前の処理を取り消す] 直前の処理を取り消す
- ⑩ [層指定・手動] 任意の層を手動で着色する
- ⑪ [層指定・自動] 自動で全層を着色する
- ⑫ [全層削除] すべての層の着色を削除する



【境界線の追加方法】

- 境界線を追加するには、 [層境界線の追加]を選択して、画面上の任意の場所をクリックして線を引きます
- ダブルクリックで線を確定します
- 線の途中でマウスの右クリックをすると境界線の追加をキャンセルします

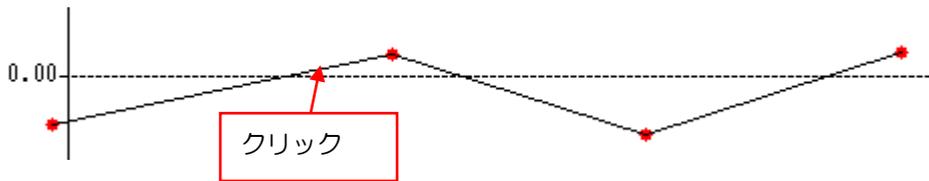


- 再度、 [層境界線の追加]を選ぶと境界線の追加を終了します

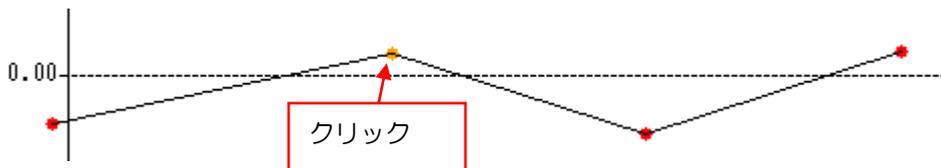
【境界線の修正方法 ①】

引いた境界線を修正する場合

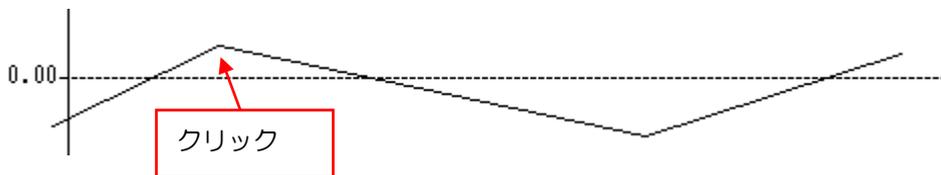
- ① 変更したい境界線をクリックすると、線の頂点が赤色で表示されます



- ② 変更したい線の頂点をクリックすると、頂点がオレンジに変わります



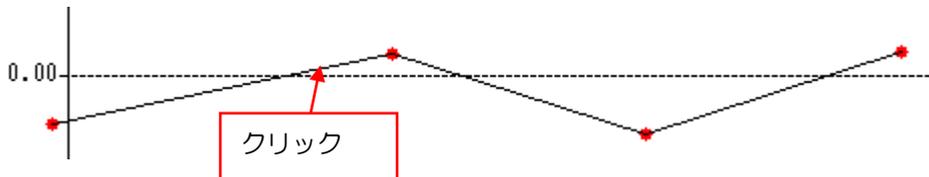
- ③ 変更後の線の頂点をクリックします



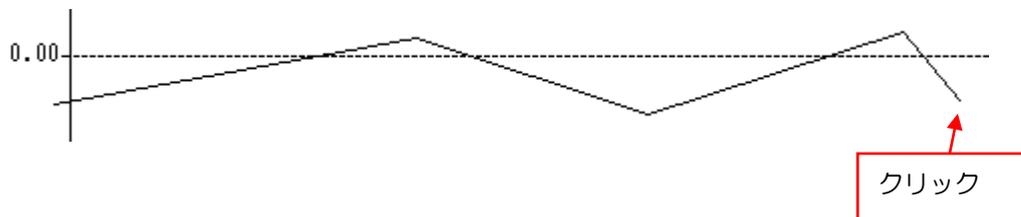
【境界線の修正方法 ②】

引いた境界線を追加する場合

- ① 追加したい境界線をクリックすると、線の頂点が赤色で表示されます



- ② 追加後の場所をクリックします



【境界線の修正方法 ③】

引いた境界線の点を削除する場合

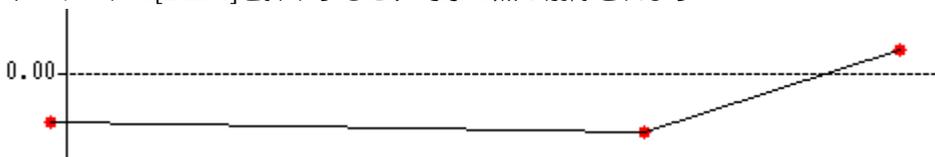
- ① 変更したい境界線をクリックすると、線の頂点が赤色で表示されます



- ② 変更したい線の頂点をクリックすると、頂点がオレンジになります

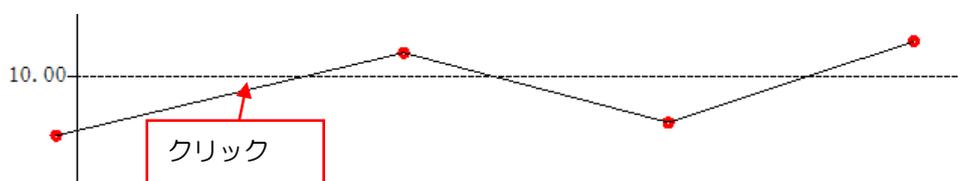


- ③ キーボードの[Delete]を押下すると、対象の点が削除されます



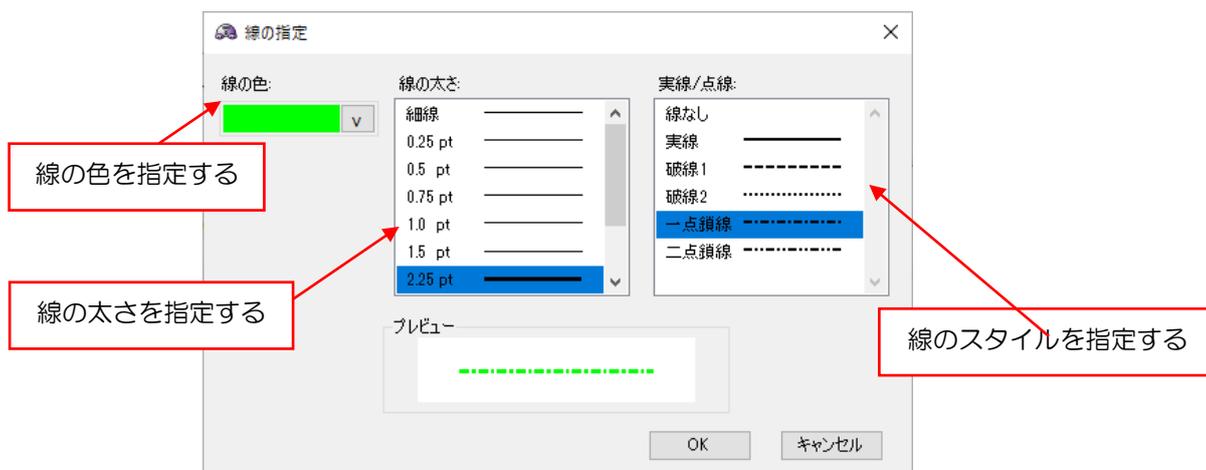
【層境界線の外観の変更方法】

- ① [選択]を選び、境界線をクリックします

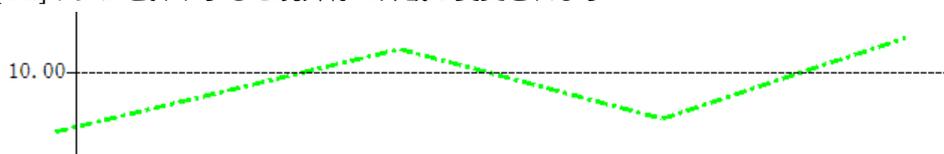


- ② メニュー[ツール]→[層境界線の線種]をクリック→[線の指定]ダイアログを表示します

- ③ [線の指定]ダイアログから、境界線の外観を指定します

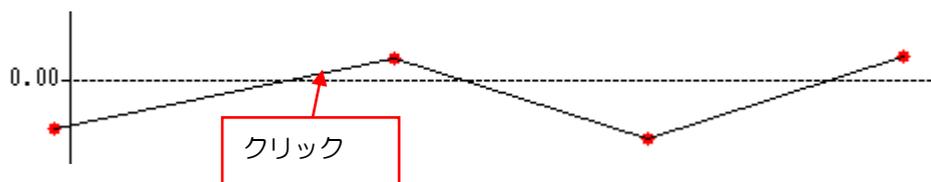


- ④ [OK]ボタンを押下すると境界線の外観が変更されます

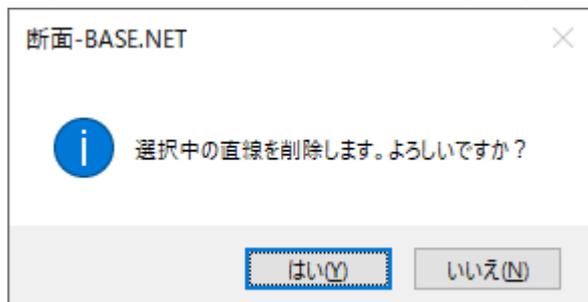


【境界線の削除方法】

- ① 変更したい境界線をクリックします



- ②  [削除]ボタンを押下し、確認メッセージで[はい]を選ぶと削除します

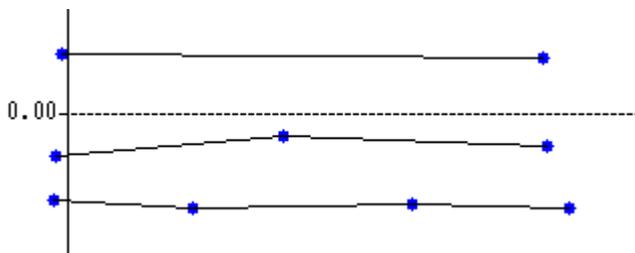


層境界線を追加した後は、層の境界を指定することで層を作成し、色を塗ることができます。

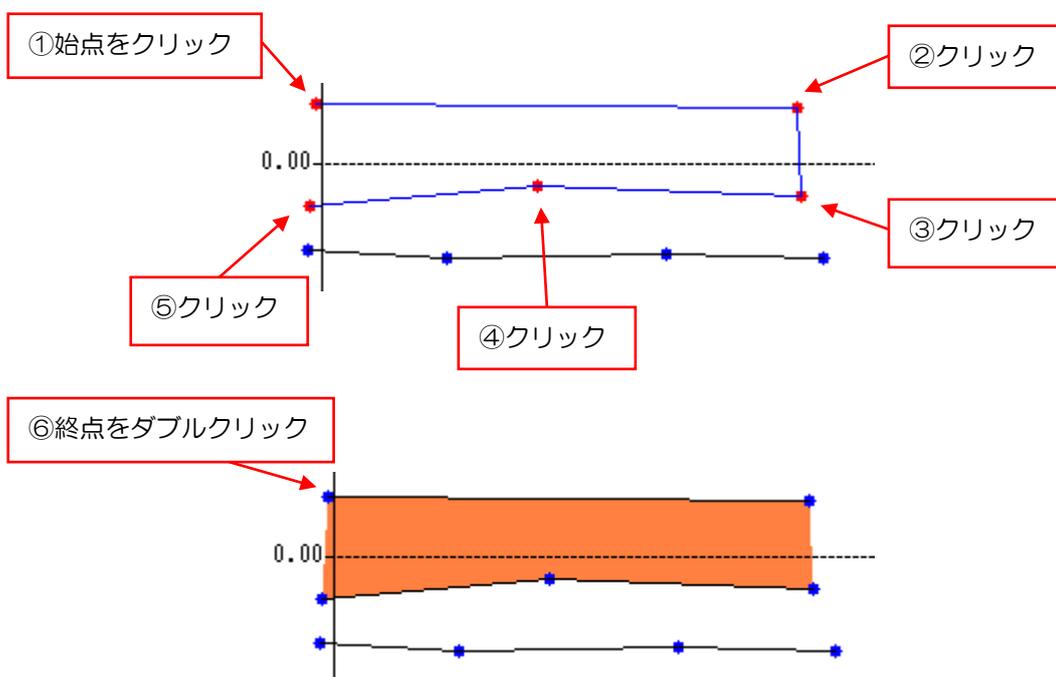
【断面の指定方法】

手動で指定する場合

- ①  [層指定・手動]ボタンを押下すると、線の頂点が青く表示されます



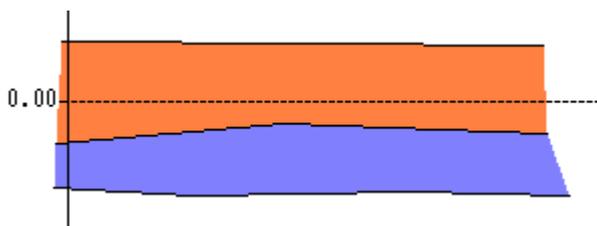
- ② 頂点をクリックして断面を指定していき、ダブルクリックで確定します



- ③  [選択]を選ぶと断面の追加を終了します

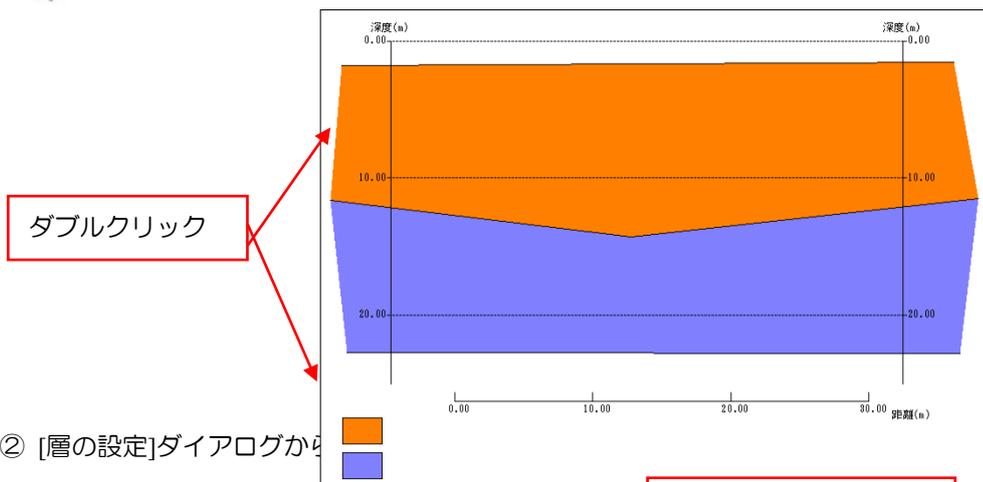
自動で指定する場合

- ①  [層指定・自動]ボタンを押下すると、断面が作成されます
 → 複雑な線の場合に認識できない場合があります。
 → 認識できない場合は手動での指定を実施します。



【層の外観の変更方法】

① [選択]を選び、層または凡例をダブルクリックすると、層の設定メニューが表示されます



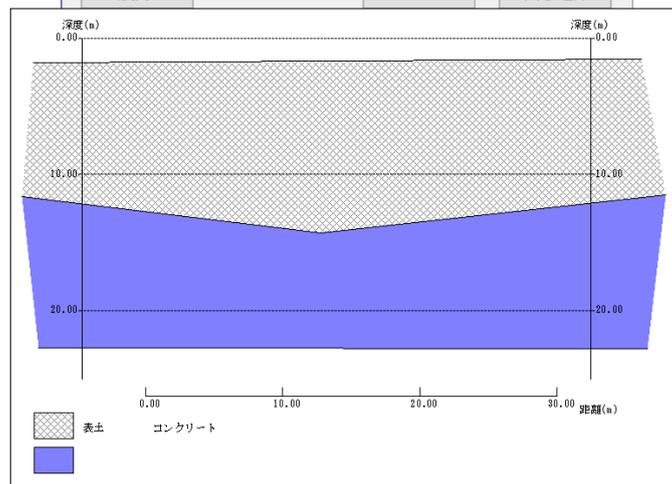
② [層の設定]ダイアログから

層の色を指定する

凡例に添える文字列を入力する

層の模様を指定する

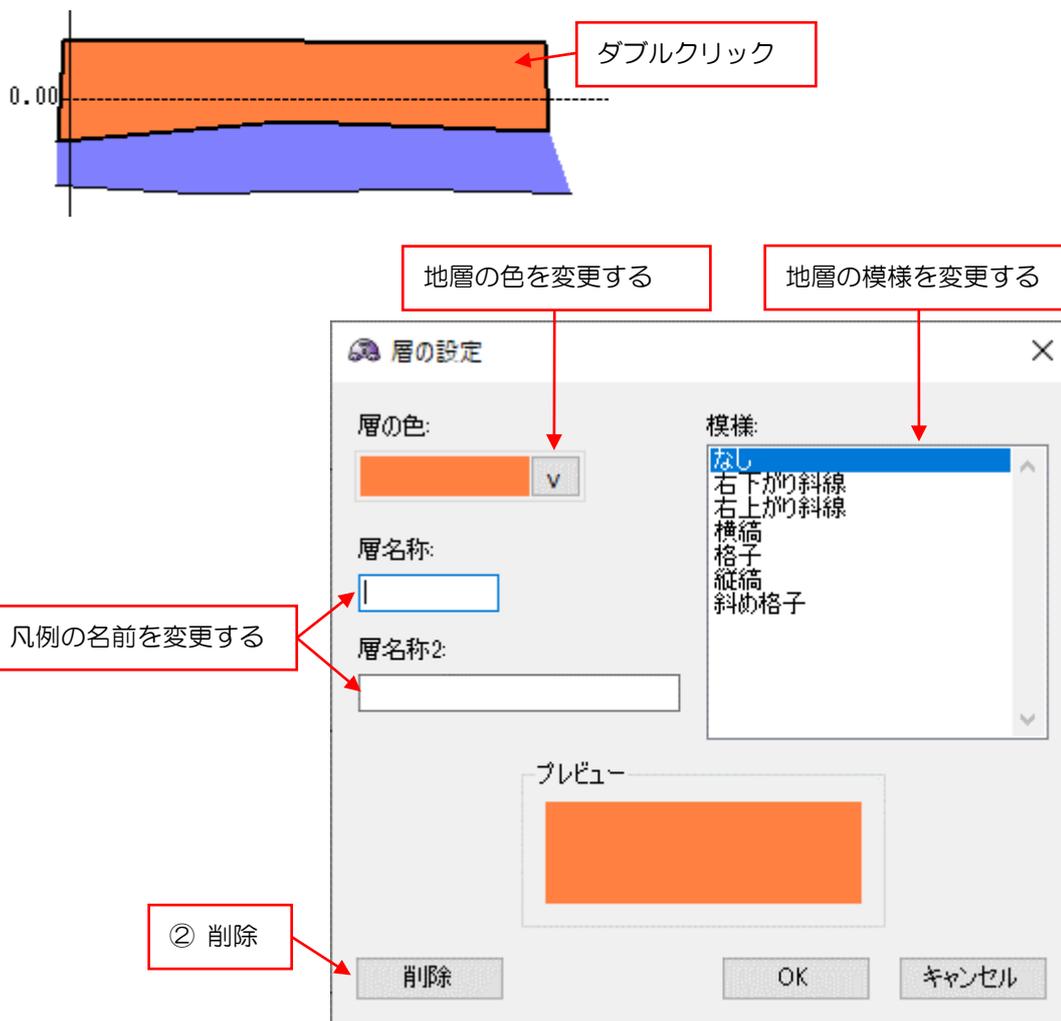
③ [OK]ボタンを押下すると層の



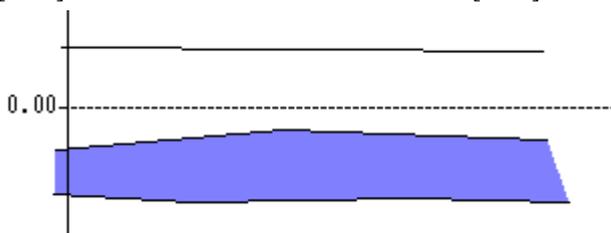
【断面の削除方法】

指定した断面を削除する場合

- ① 断面または凡例をダブルクリックすると、層の指定メニューが表示されます

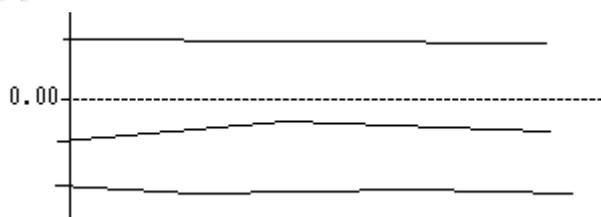


- ② [削除]ボタンを押下し、確認メッセージで[はい]を選ぶと削除します



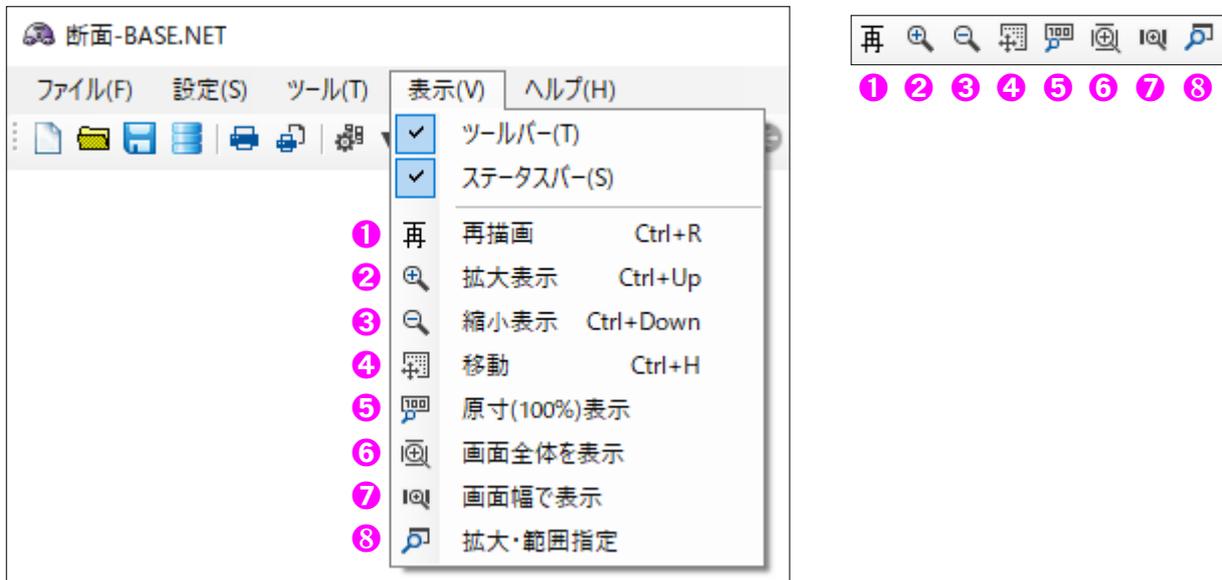
全ての断面を削除する場合

- ① ~~X~~ [全ての断面を削除]を押下し、確認メッセージで[はい]を選ぶと削除します



3.9. 表示設定

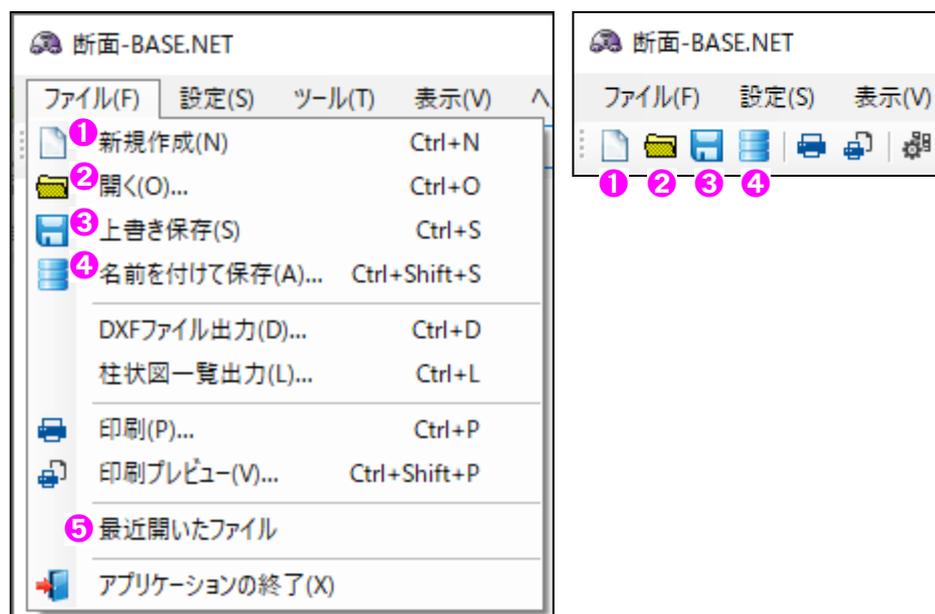
柱状図一覧の表示倍率を変更する事ができます。



- ① [再描画] 断面図を再び表示する
- ② [拡大表示] 断面図を拡大表示する
- ③ [縮小表示] 断面図を縮小表示する
- ④ [移動] 画面上をドラッグして表示範囲を移動できるようになる
- ⑤ [原寸(100%表示)] 断面図の表示倍率を 100%にする
- ⑥ [画面全体を表示] 柱状図が画面内に収まるように表示する
- ⑦ [画面幅で表示] 画面の横幅に合わせて表示する
- ⑧ [拡大・範囲指定] 画面上の指定した範囲を拡大する

3.10. 断面図の保存・読み込み

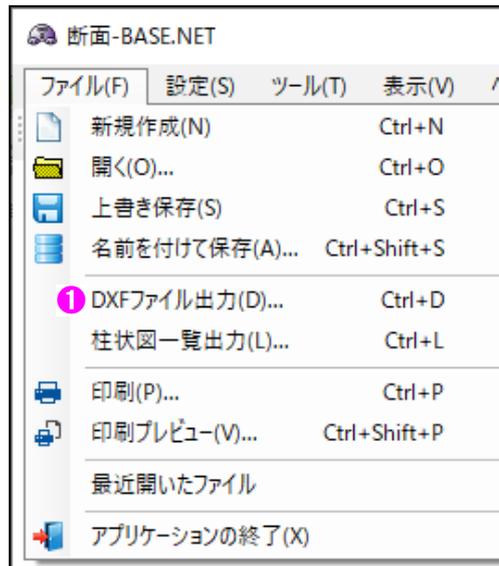
断面図設定をファイルに保存/読み込みます。



- ① [新規作成] 断面図を新しく作成する
 - ② [開く] 保存した断面図ファイル(.dbn)を開く
 - ③ [上書き保存] 現在の断面図ファイル(.dbn)を上書き保存する
 - ④ [名前を付けて保存] 現在の断面図に名前を付けてファイル(.dbn)に保存する
 - ⑤ [最近開いたファイル] 最近開いた断面図ファイル（5つまで履歴を保存）を開きます
- ※ 読み込んだボーリングファイルは断面図ファイル(.dbn)にコピーされ、編集・削除の影響を受けません。
ボーリングファイルの変更を反映させる場合、「4.2 ボーリング XML の読み込み」を再度実施してください。

3.11. DXF ファイル出力

断面-BASE.net で作成した柱状図を、DXF ファイル形式で保存する事ができます。



- ① メニュー[ファイル]→[DXF ファイル出力]ダイアログにてファイル名を決定後[OK]ボタンをクリックして DXF ファイルを出力します。

※ 記号はベクタ形式で出力するようになりました。

※ 作成した DXF ファイルは AutoCAD 2018 (LT) に読み込んで確認しています。

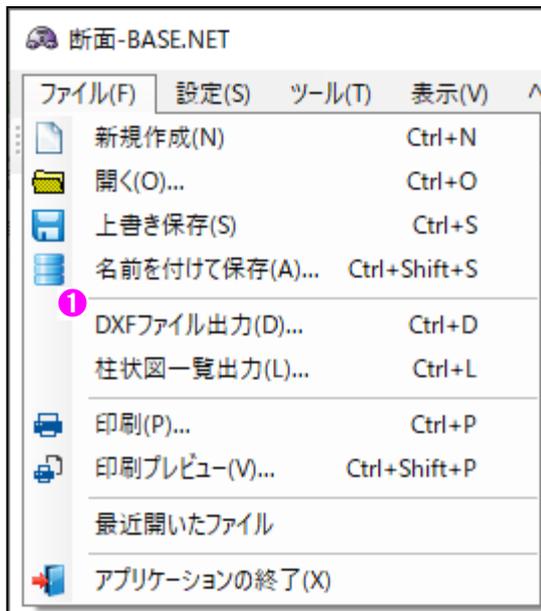
[3.13.CAD での操作例]も参照下さい。

- ② DXF のレイヤ構成

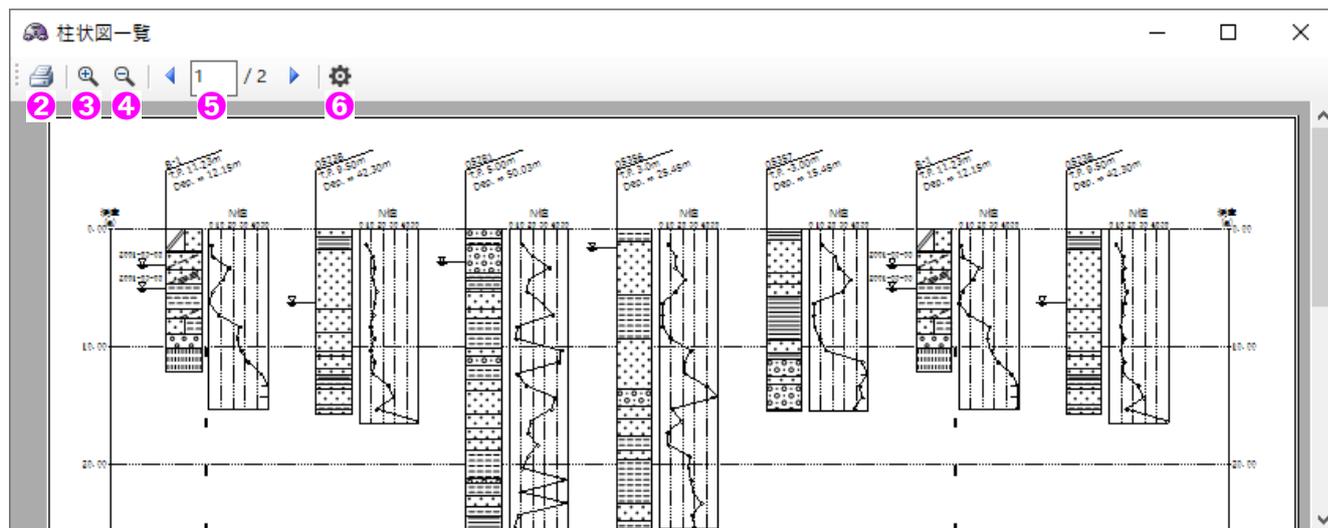
レイヤ名	構成
S-BGD-BRG	柱状図や断面図等、軸以外のデータ
S-TTL-GRD	軸のデータ

3.12. 柱状図一覧出力

断面-BASE.net で作成した柱状図を、用紙の幅に合わせて一覧表示することができます。



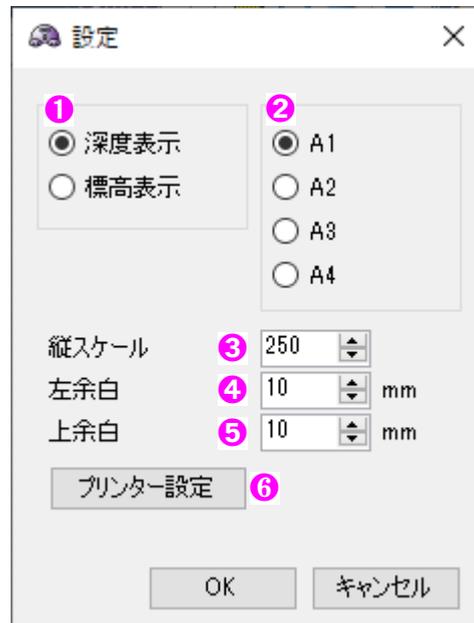
- ① 柱状図一覧を表示
設定ダイアログにて用紙のサイズ・余白の幅などの変更が可能です。
- ② [印刷] プリンター選択ダイアログを表示
- ③ [拡大] 柱状図一覧の拡大
- ④ [縮小] 柱状図一覧の縮小
- ⑤ 柱状図一覧の表示ページを変更
- ⑥ 設定ダイアログを表示



3.13. 柱状図一覧の設定

柱状図一覧の用紙のサイズ・余白の幅などを変更することができます。

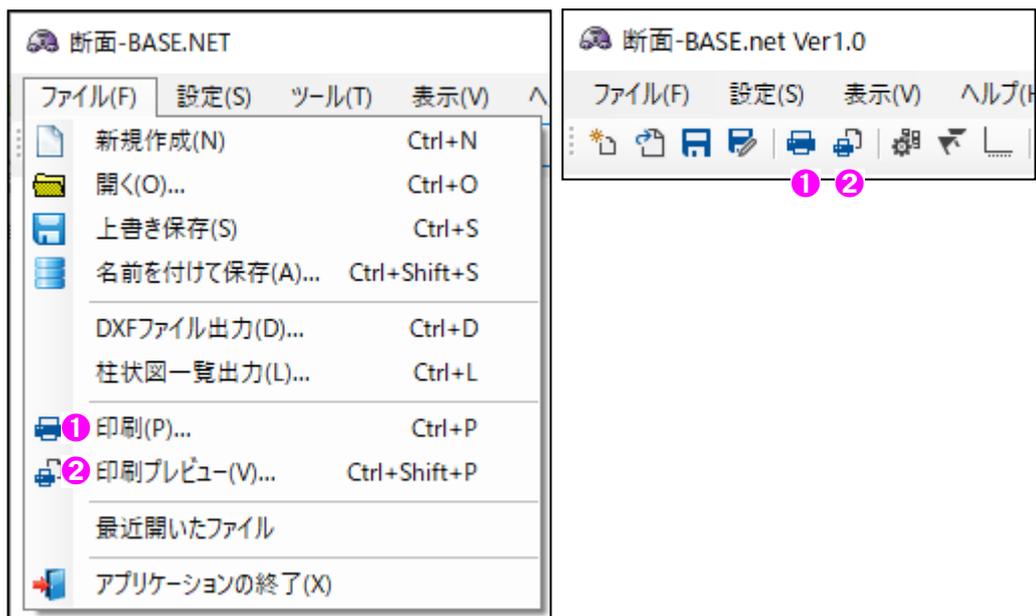
柱状図一覧のツールバー  をクリック → [設定]ダイアログを表示します。



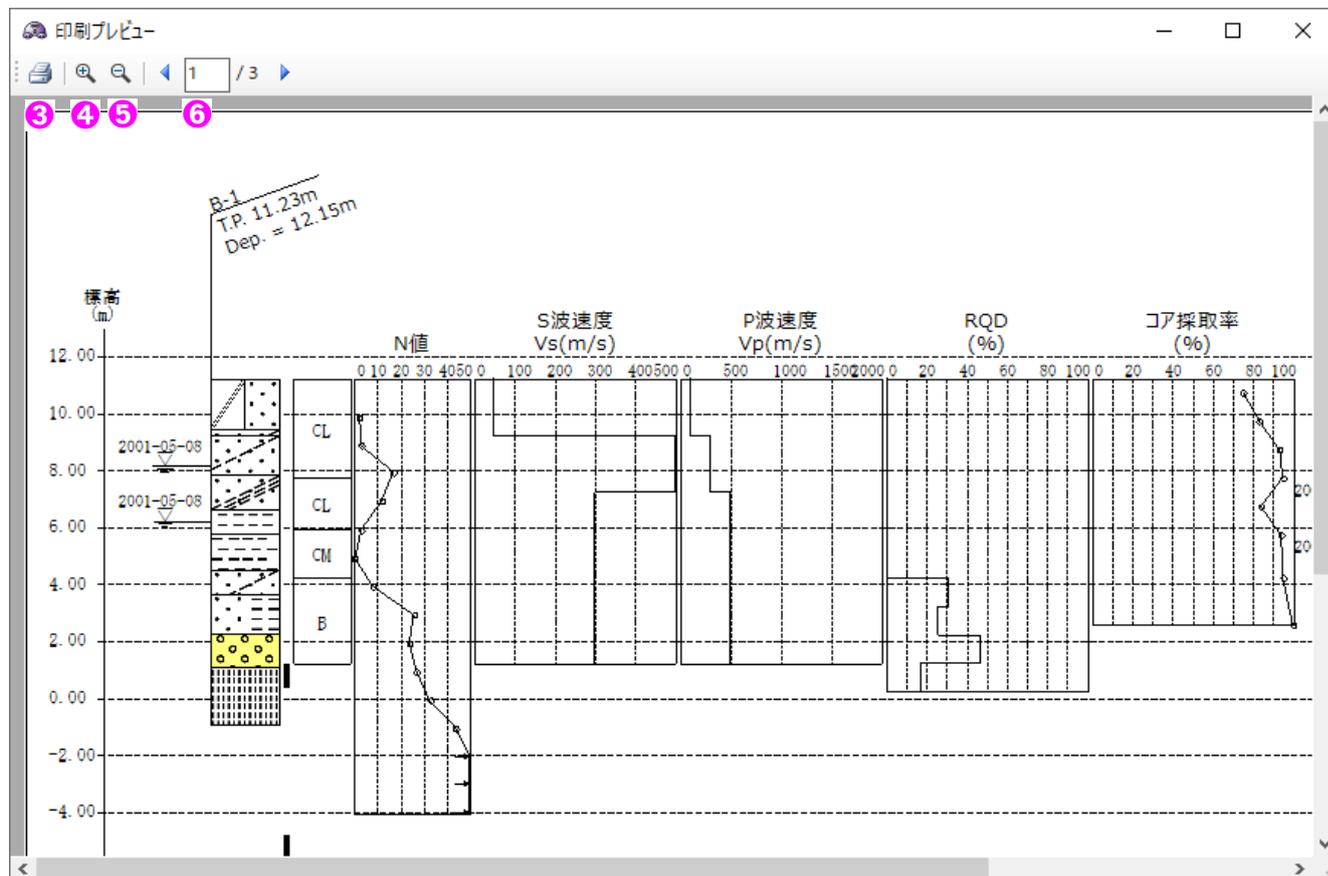
- ① 深度表示：柱状図一覧の表示形式を「深度」に設定
- ② 標高表示：柱状図一覧の表示形式を「標高」に設定
- ③ 用紙のサイズを設定
- ④ 縦方向の縮尺を設定
- ⑤ 左側の余白の大きさを設定
- ⑥ 上側の余白の大きさを設定
- ⑦ 使用するプリンターを設定

3.14. 印刷

完成した柱状図を、印刷する事ができます。



- ① [印刷] プリンター選択ダイアログを表示
プリンター選択ダイアログ内の各プリンターの詳細設定にて、用紙のサイズ・向きなどの変更が可能です。
- ② [印刷プレビュー] 印刷プレビューを表示
- ③ [印刷] プリンター選択ダイアログを表示
- ④ [拡大] 印刷プレビューの拡大
- ⑤ [縮小] 印刷プレビューの縮小
- ⑥ 印刷プレビューのページを変更



3.15. ヘルプ



- ① [ヘルプの表示] PDF ヘルプ（本マニュアル）を表示
- ② [バージョン情報] バージョン情報を表示

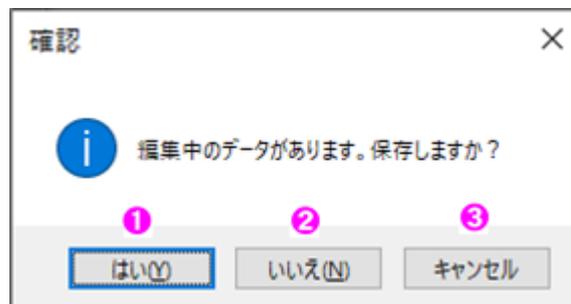
3.16. 断面-BASE.net の終了

[断面-BASE.NET]を終了するには、以下の3方法があります。

- ① メニュー[ファイル]-[アプリケーションの終了]をクリック
- ② アプリケーションコントロール（)をクリックし、[閉じる]をクリック
- ③ メインウィンドウ右上の[閉じる]ボタン（)をクリック

編集中的数据を保存せずにこの操作を行うと以下のダイアログが表示されます。

- ① [はい]ボタンをクリックすると、編集中的数据を保存して終了します。
- ② [いいえ]ボタンをクリックすると、編集中的数据を破棄して終了します。
- ③ [キャンセル]ボタンをクリックすると、終了せずに元の画面に戻ります。



3.17. 独自模様の利用

断面-BASE.NET でも独自の柱状図模様を表示することができます。

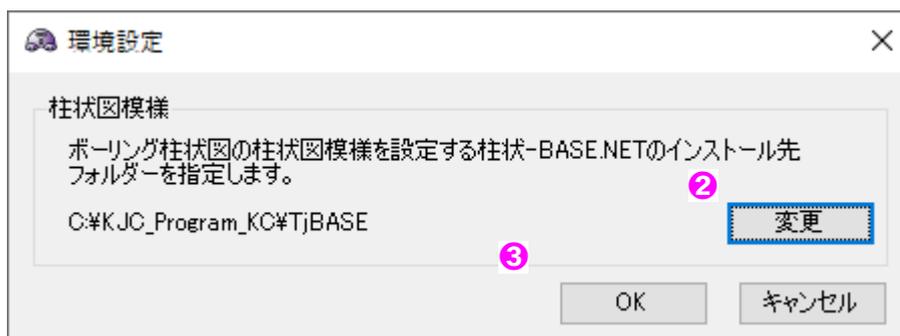
3.17.1. 柱状-BASE.net にて独自模様を設定する

- ① メニュー[柱状図]→[柱状図模様設定]をクリック→[柱状図模様設定]ダイアログを表示します。
- ② [工学的地質区分名・現場土質名]を入力します。
- ③ [岩相・岩石コード]を入力します。
- ④ [図模様一覧]から図模様を選択します。
- ⑤ [設定]から番号をクリックし、図模様を設定します。
- ⑥ [確定する]をクリックし、設定を完了します。



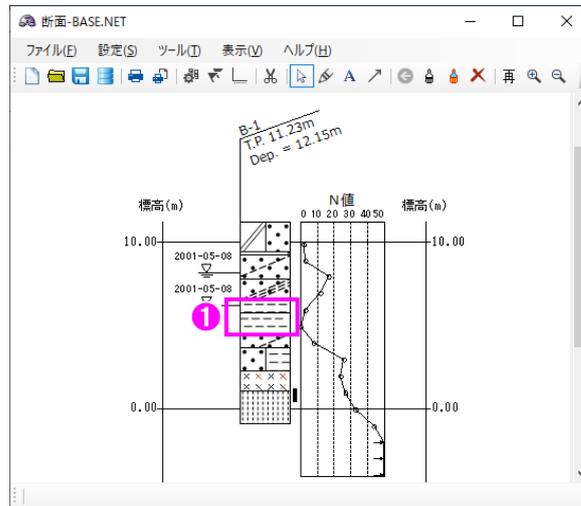
3.17.2. 断面-BASE.net にて柱状-BASE.net のインストール先を指定する

- ① メニュー[設定]→[環境設定]をクリック→[環境設定]ダイアログを表示します。
- ② [変更]ボタンをクリックし、柱状-BASE.NET のインストール先にある BaseEdit.exe を選択します。
- ③ ※デフォルトでインストールしている場合のインストール先は以下となります。
- ④ C:\¥KJC_Program_KC¥TjBASE
- ⑤ [OK]ボタンをクリックします。



3.17.3. 断面-BASE.net にて表示

- ① 断面図を表示すると設定した独自模様が表示されます。



3.17.4. DXF へ出力する

- ① DXF へ出力すると DXF にも独自模様が出力(*)されます。
※ 独自模様は PNG 形式にて DXF と同じ場所にファイル出力されます。

